



# AWS Cloud WANを使用したセキュアな グローバルネットワーク構築方法

Cloud WAN + SASE連携

藤井 拓

Snr. Solutions Architect Network Specialist  
2026/3/6

# 自己紹介



名前：藤井 拓（ふじいたく）

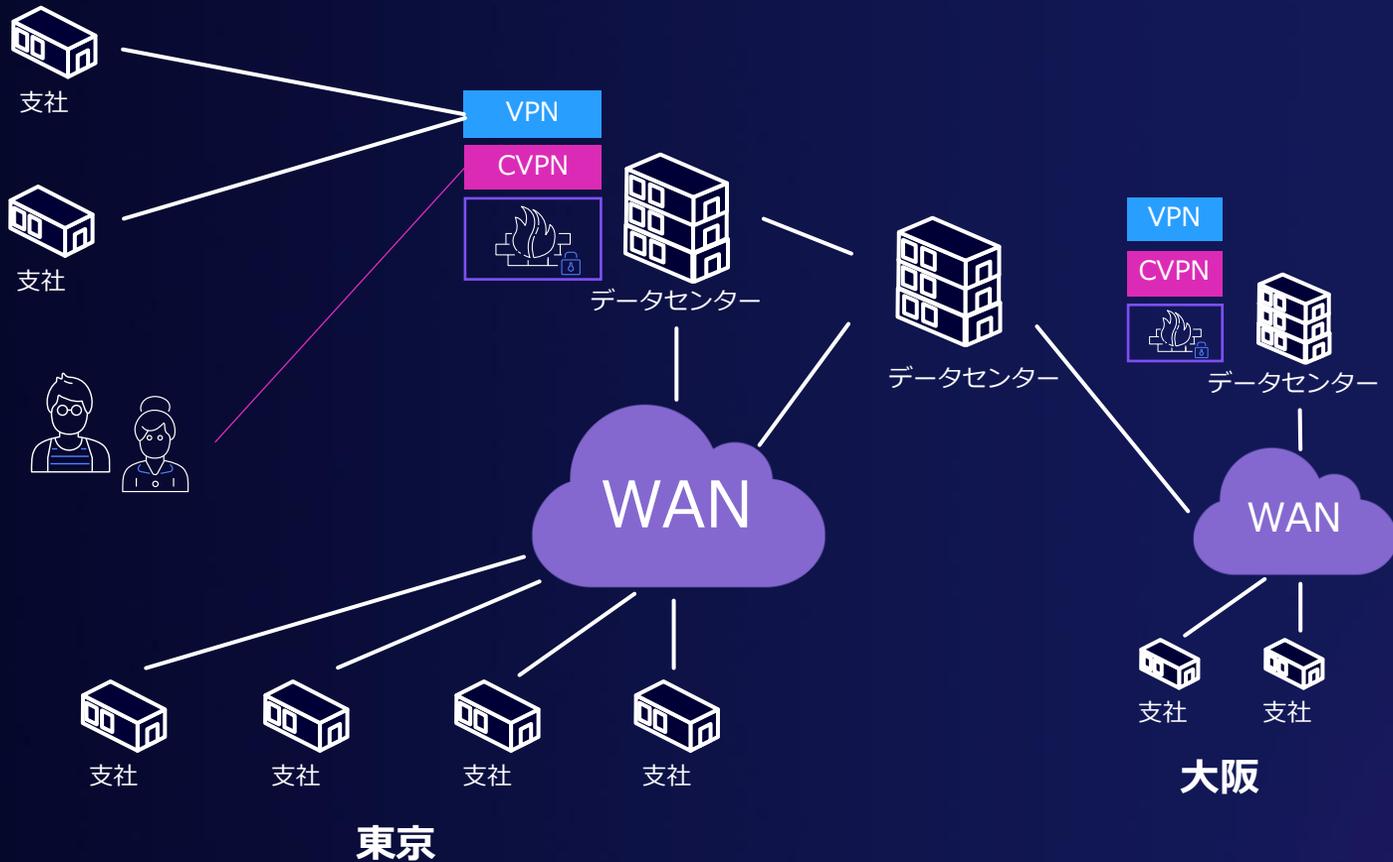
所属：アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社  
シニアネットワークソリューションアーキテクト

経歴：前職は外資系ネットワーク機器メーカーにてネットワーク機器に関わる  
プリセールスSEを長年担当

好きなAWSサービス： AWS Transit Gateway, AWS Gateway Load Balancer,  
AWS Cloud WAN

# WANとは

# エンタープライズWAN



## 接続形態

- キャリア網、VPN、Client VPN

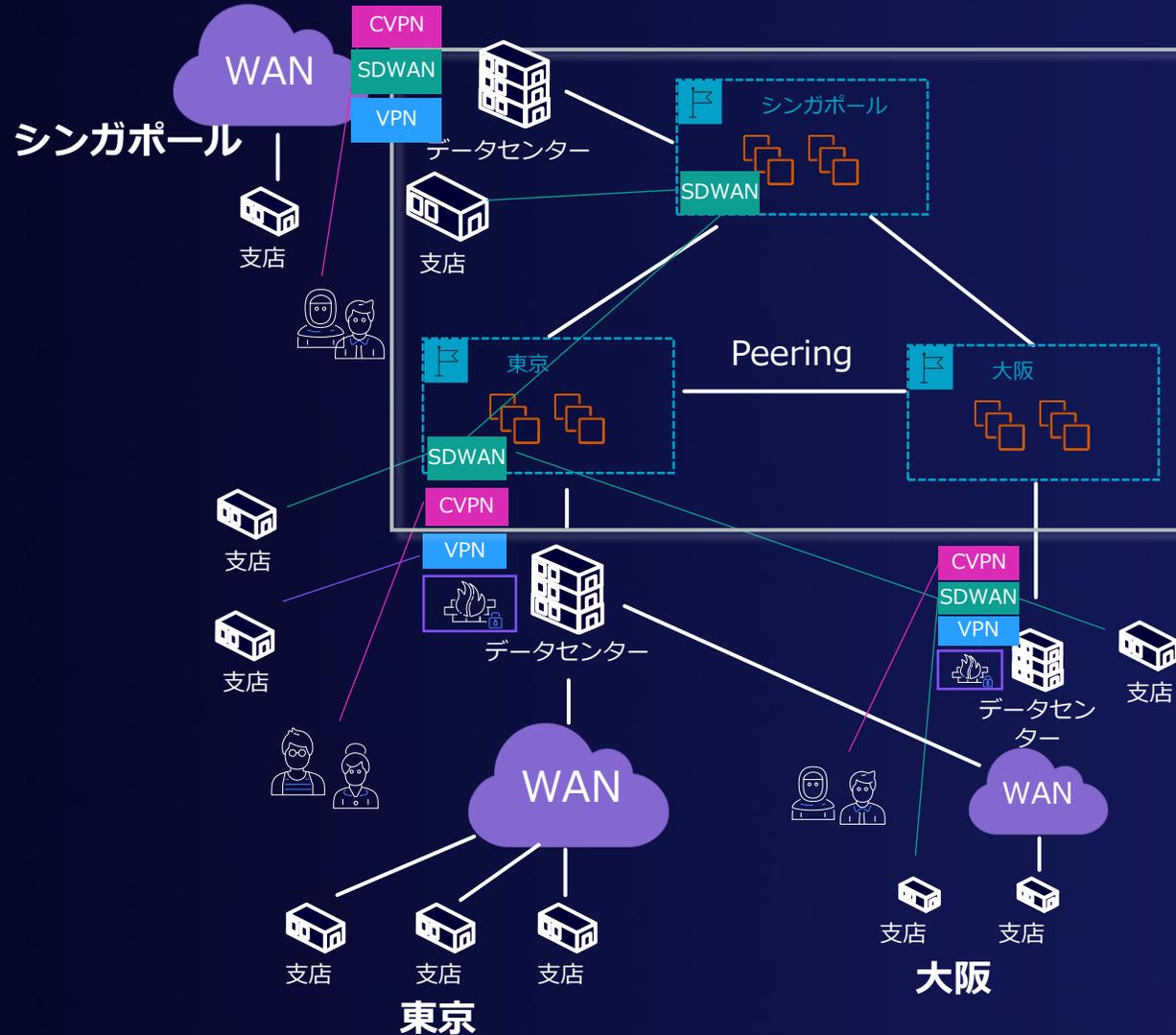
## トラフィックフロー

- オフィス拠点間
- オフィス拠点⇔データセンター間
- リモートユーザ⇔データセンター間

## 課題

- ネットワーク肥大化によるポリシー管理
- 拠点追加時のリードタイム
- 新たに海外拠点追加する際のリードタイムはさらに伸びる

# エンタープライズWAN（クラウド接続追加）



## 追加される接続形態

- クラウド接続、SD-WAN

## 追加されるトラフィックフロー

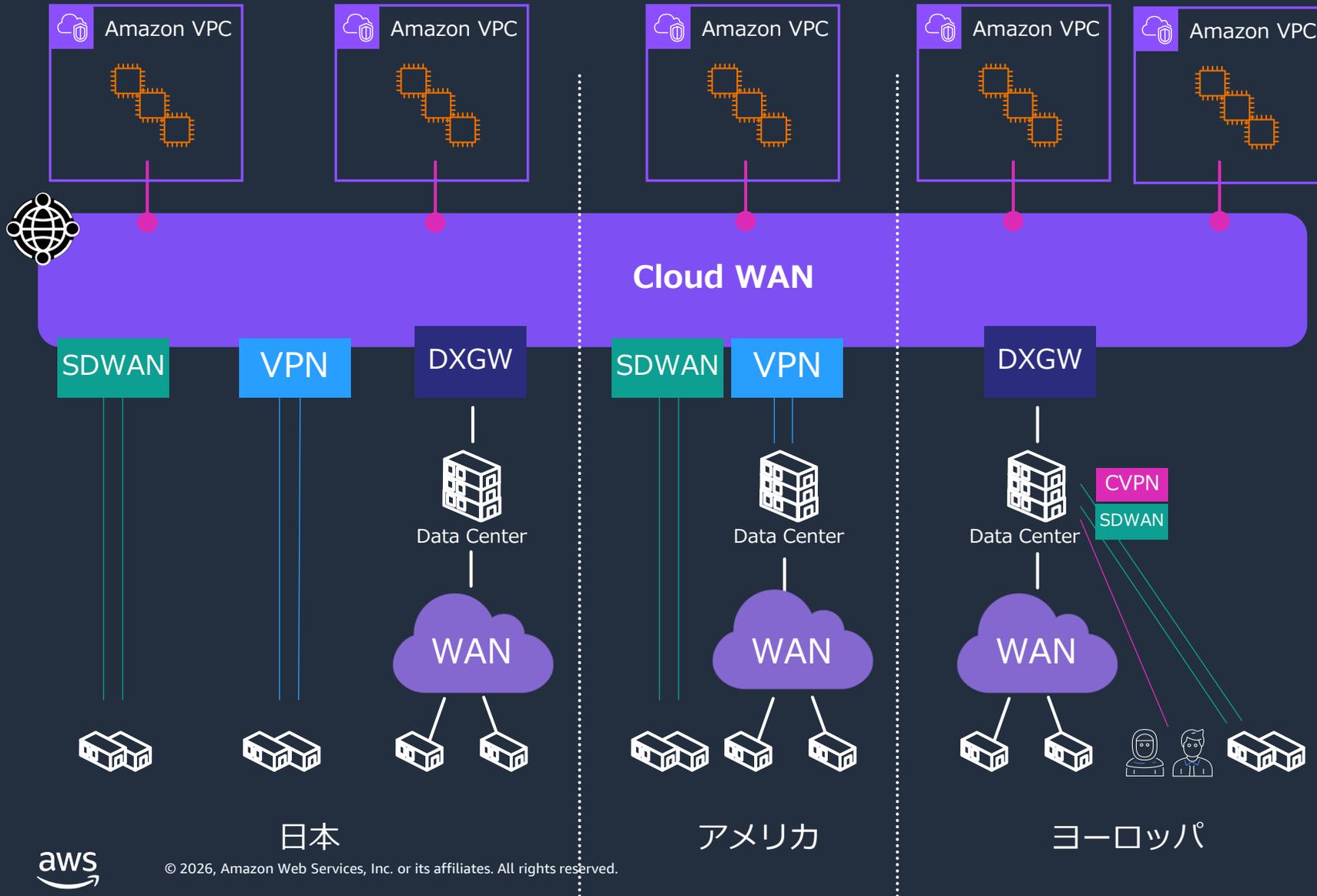
- オンプレミス拠点⇔クラウド
- リモートユーザ⇔クラウド
- クラウドリージョン間の通信  
⇒SD-WANなどの拠点間通信もクラウド内のバックボーンを通過する場合もある。

## 課題（将来）

- グローバルネットワークの要件変更対応の迅速化及びポリシー管理
- 新たに国内外の拠点追加する際のリードタイムをより迅速化

# AWS Cloud WANとは

# Cloud WAN



グローバルネットワーク  
リージョンを跨いだネット  
ワーク接続性を提供

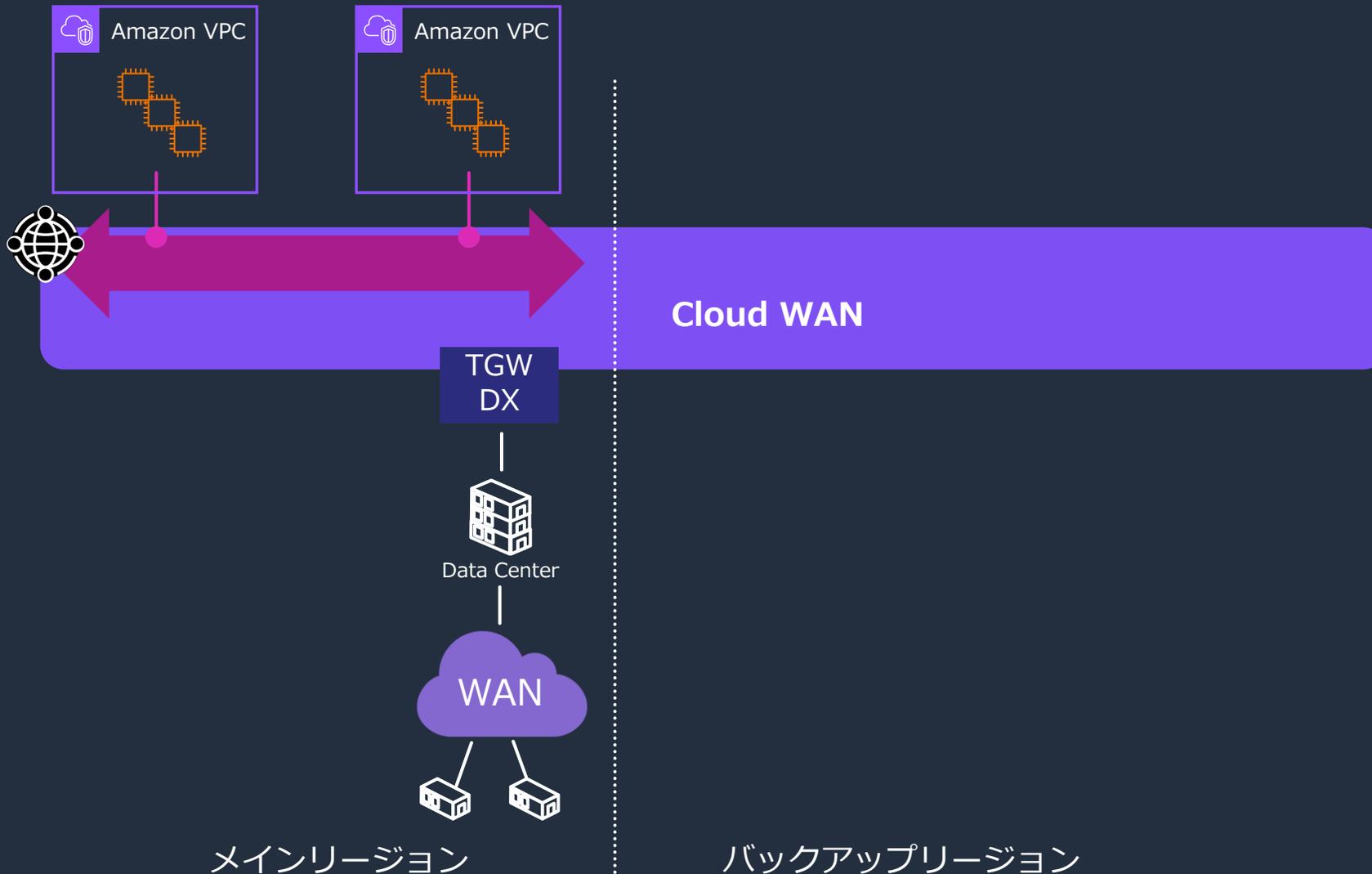
## 一元管理

ルーティング情報  
ネットワークポリシー  
日常業務の自動化

## アタッチメント

VPCs  
VPNs  
SD-WAN(TGW Connect)  
Transit Gateway RTBs

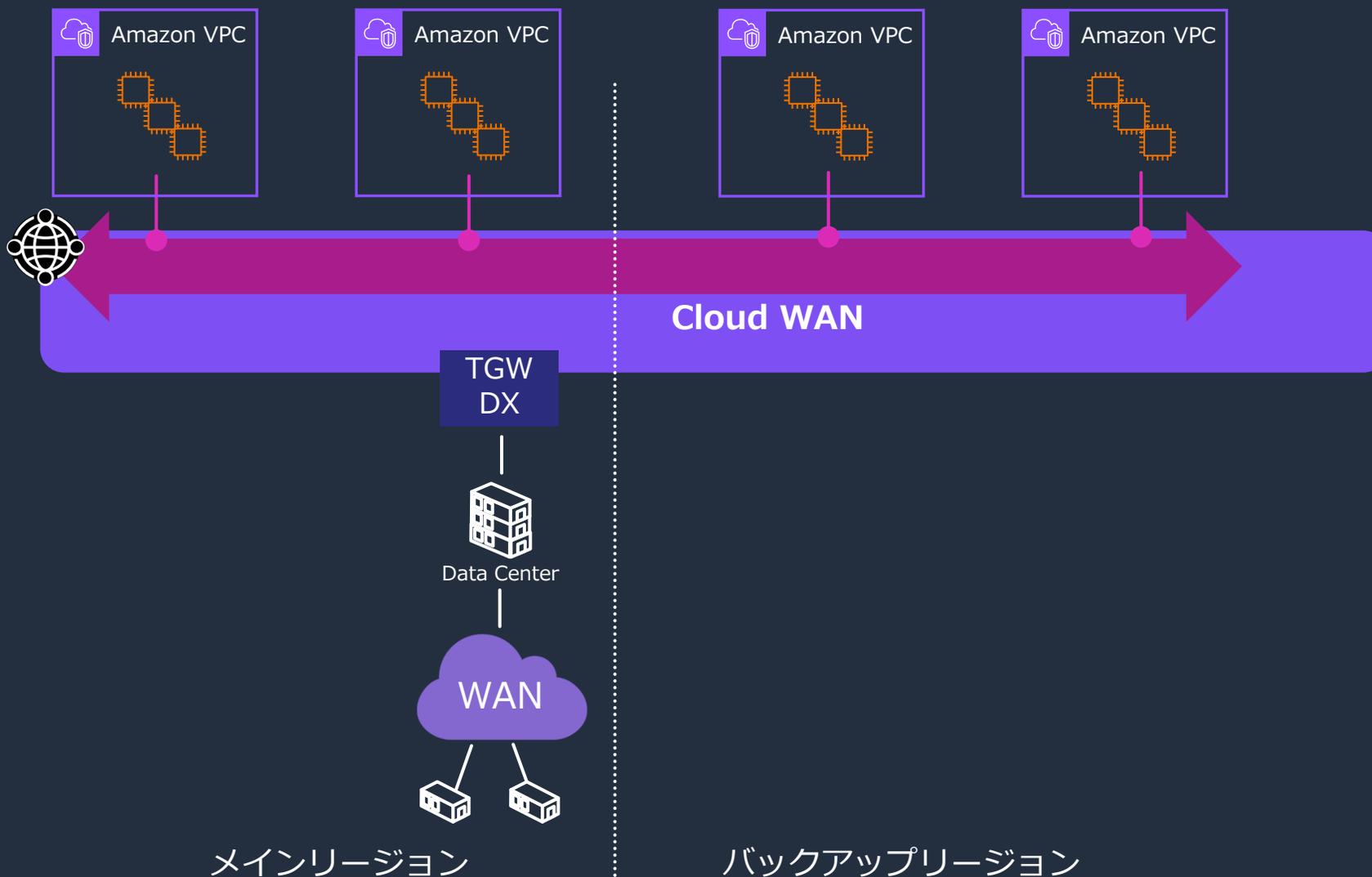
# リージョンの追加例 (DR対策)



ユースケース

DR対策

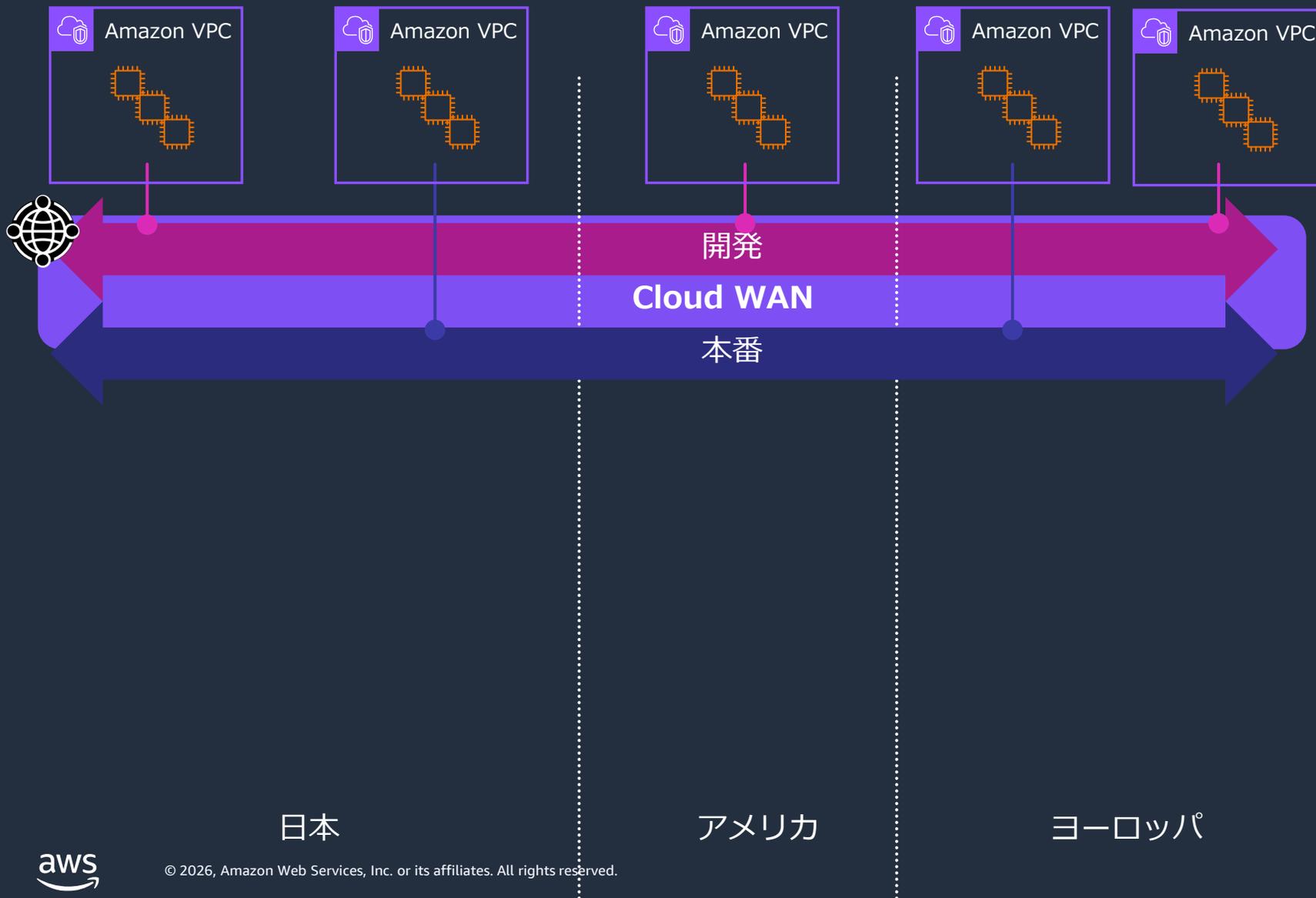
# リージョンの追加例 (DR対策)



ユースケース

DR対策

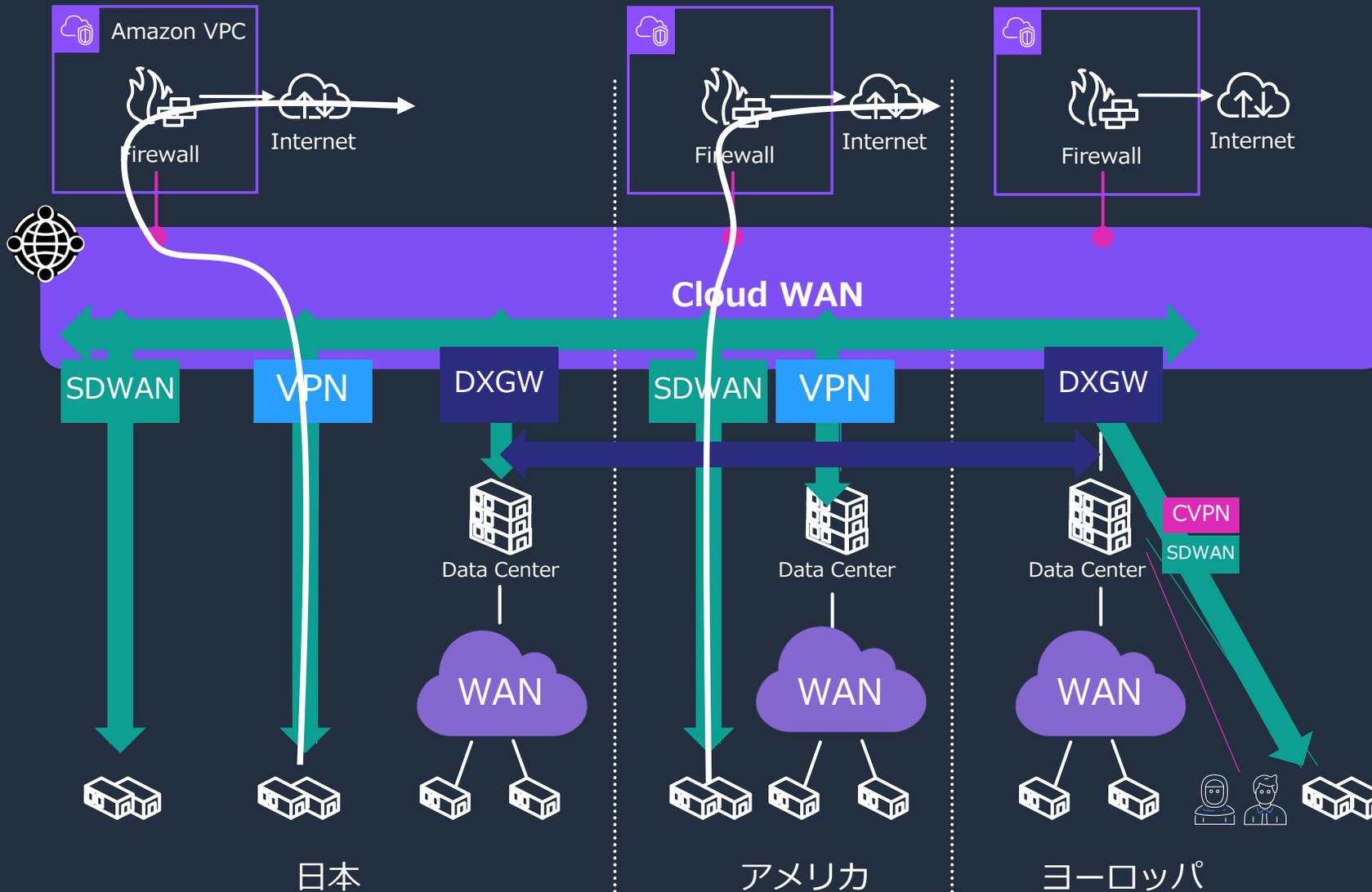
# VPC間接続例



## ユースケース

VPC間をグローバルなフラットネットワークで接続し、かつネットワークをセグメンテーションしルーティングを分ける。

# WAN接続例



## ユースケース

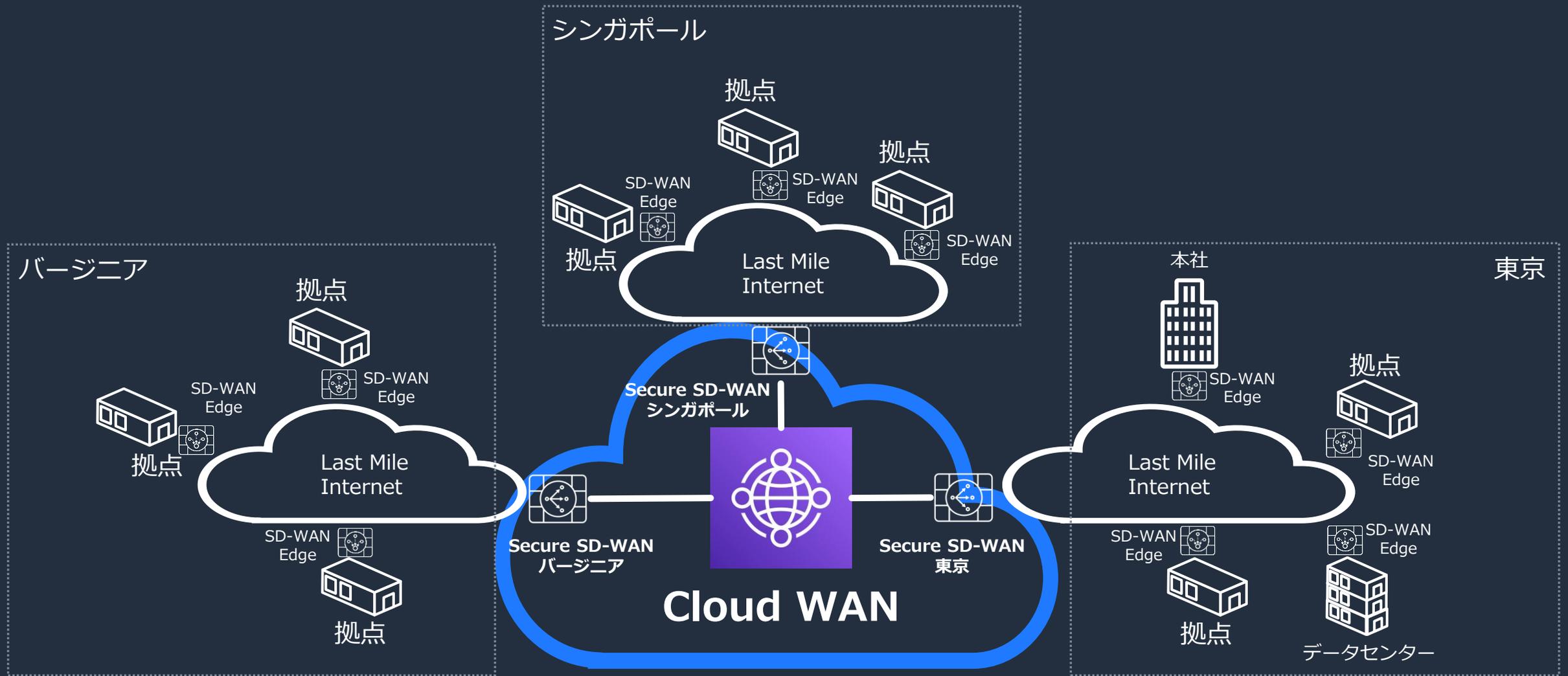
各オンプレミス拠点間をグローバルなフラットネットワークで接続しルーティング行う。SiteLinkとの併用も可能。

インターネットの出口は、AWSの各リージョンごとに個別設定する事も可能。

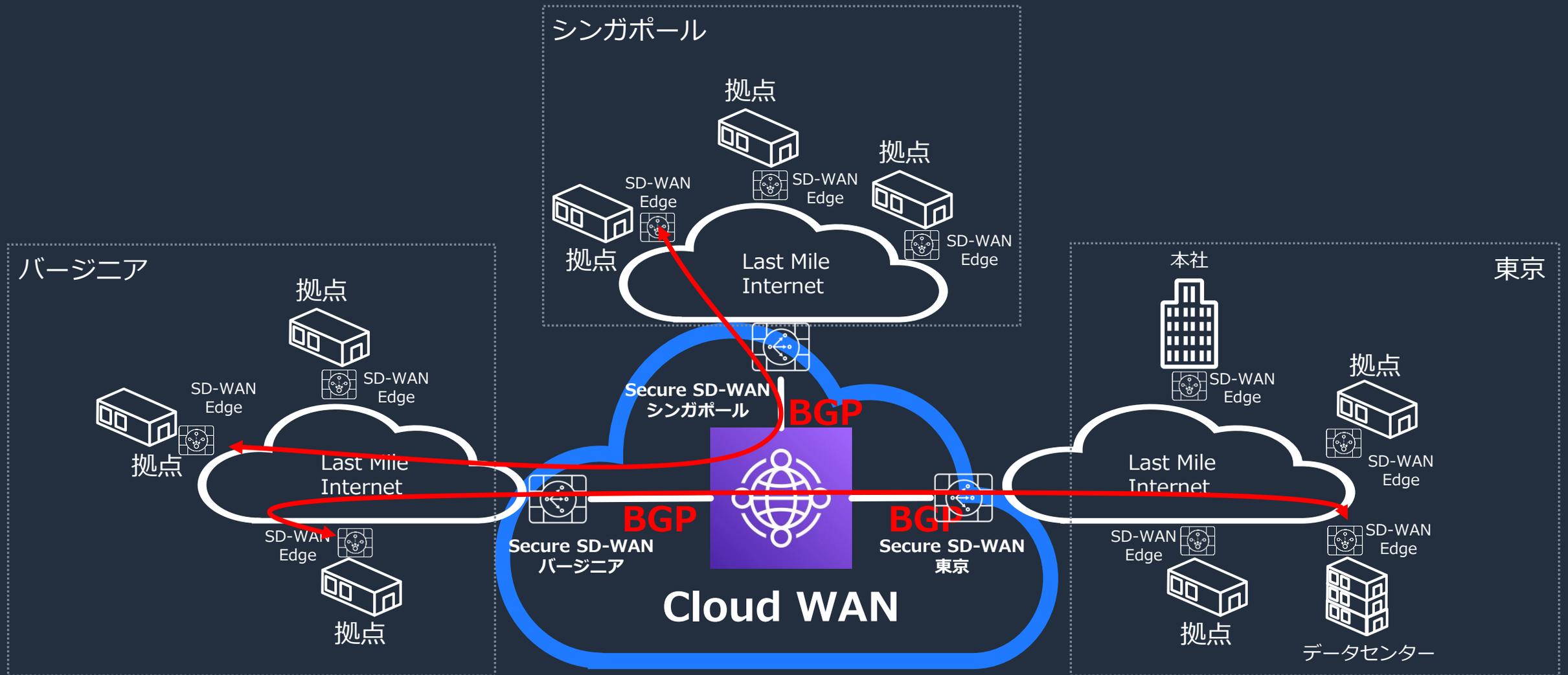
# Cloud Native WAN

# Cloud WAN SD-WAN連携

# Cloud WANをSD-WANのグローバル3ハブとして活用

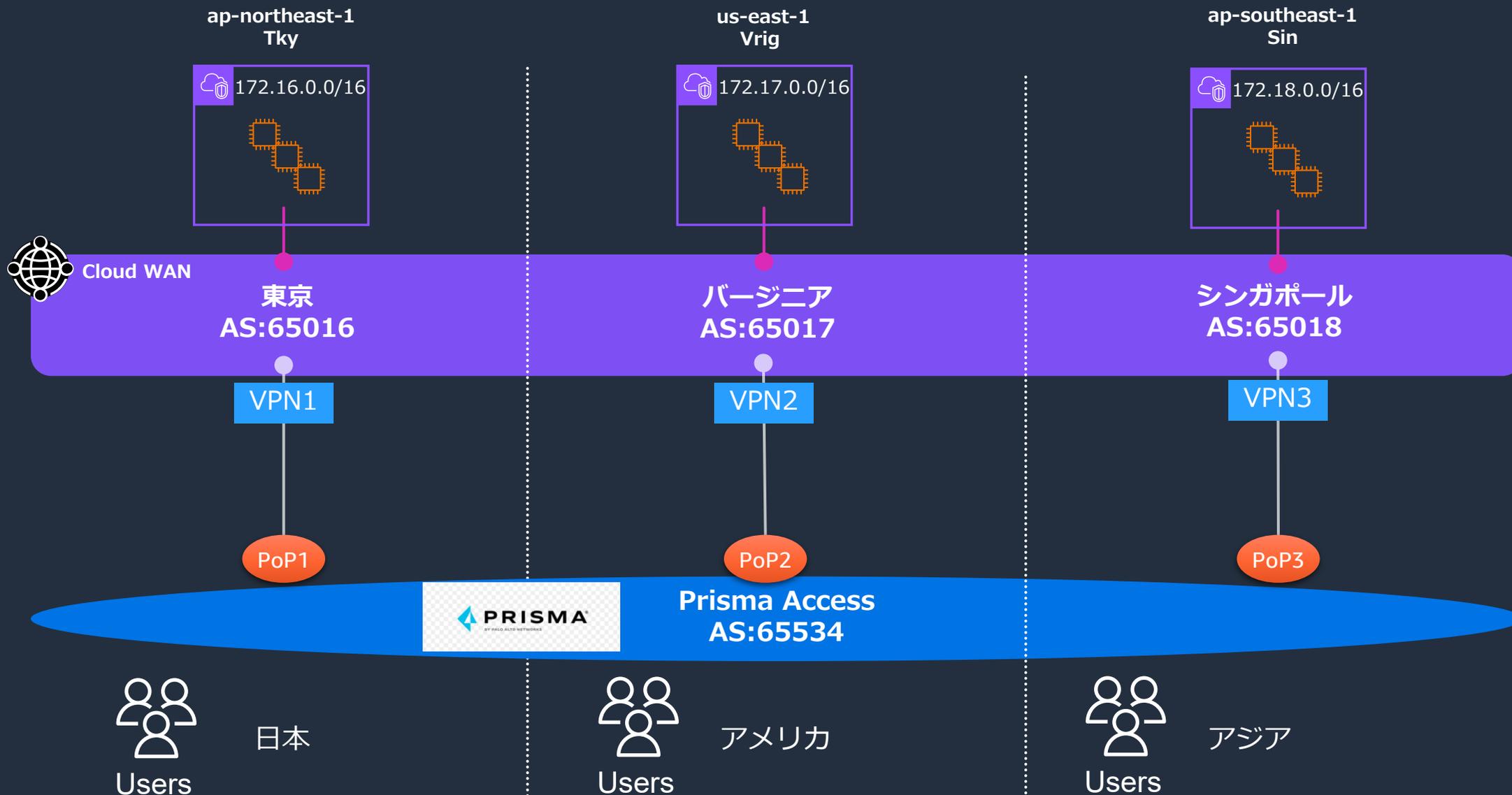


# Cloud WANをSD-WANのグローバル3ハブとして活用

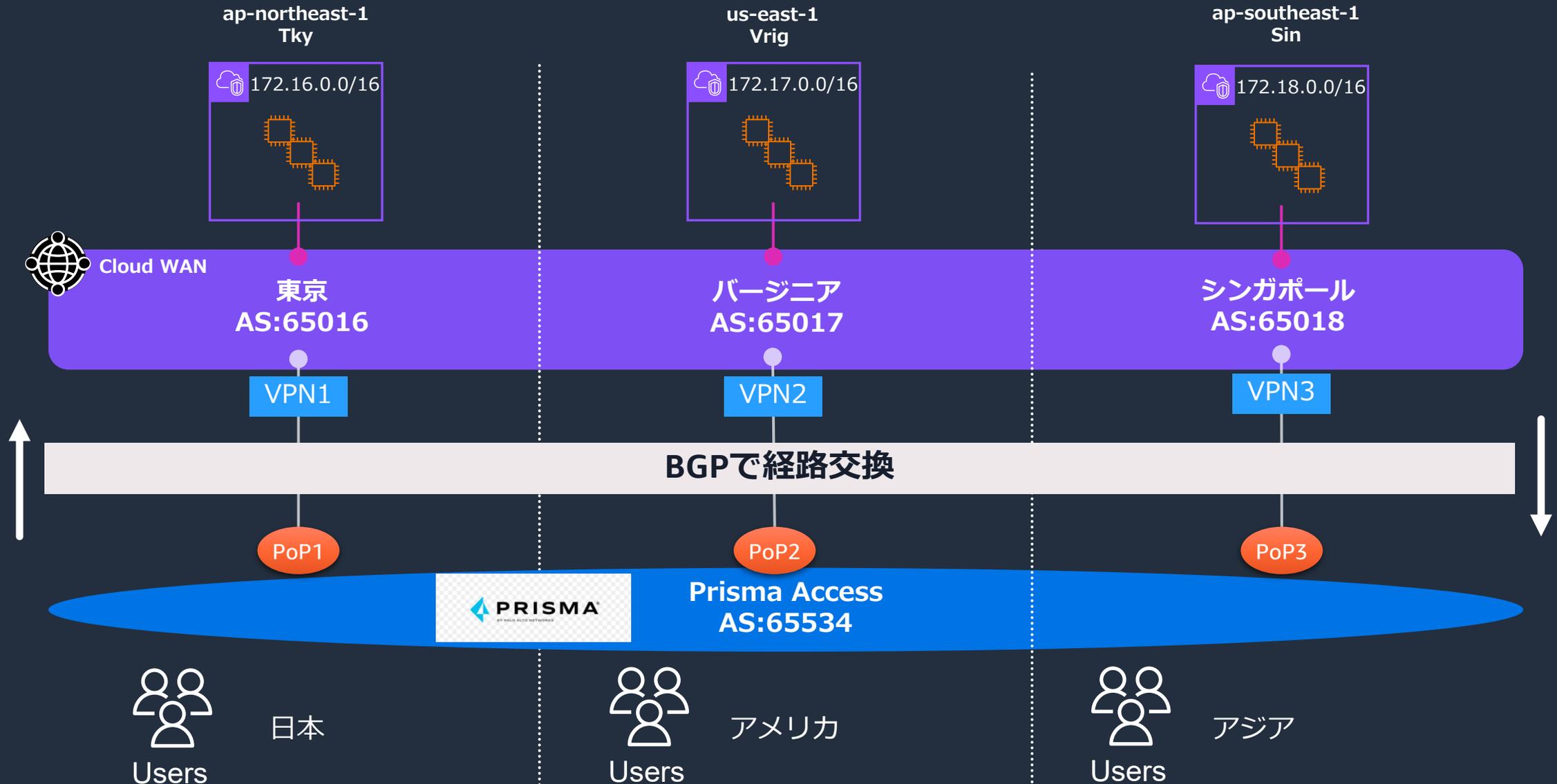


# Cloud WAN SASE連携

# Prisma AccessとCloud WANのルーティング



# Prisma AccessとCloud WANのルーティング



# Prisma Access → Cloud WANへのルーティング



# Cloud WAN→Prisma Accessへのルーティング



# Cloud WANの便利な機能

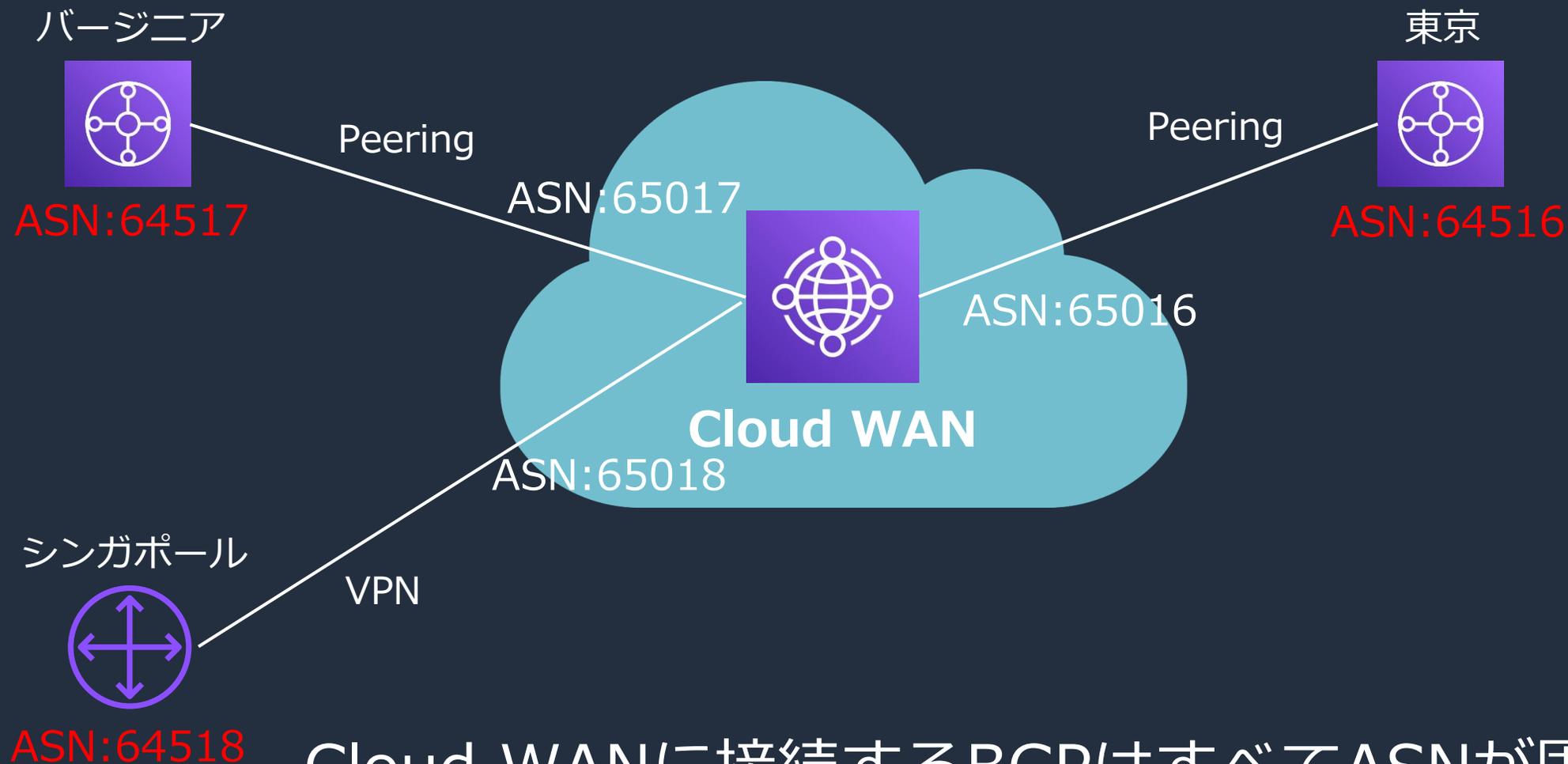
# Advanced Routing

# Advanced Routing

- BGP経路制御が方法が追加され、より細かなRouting制御が可能

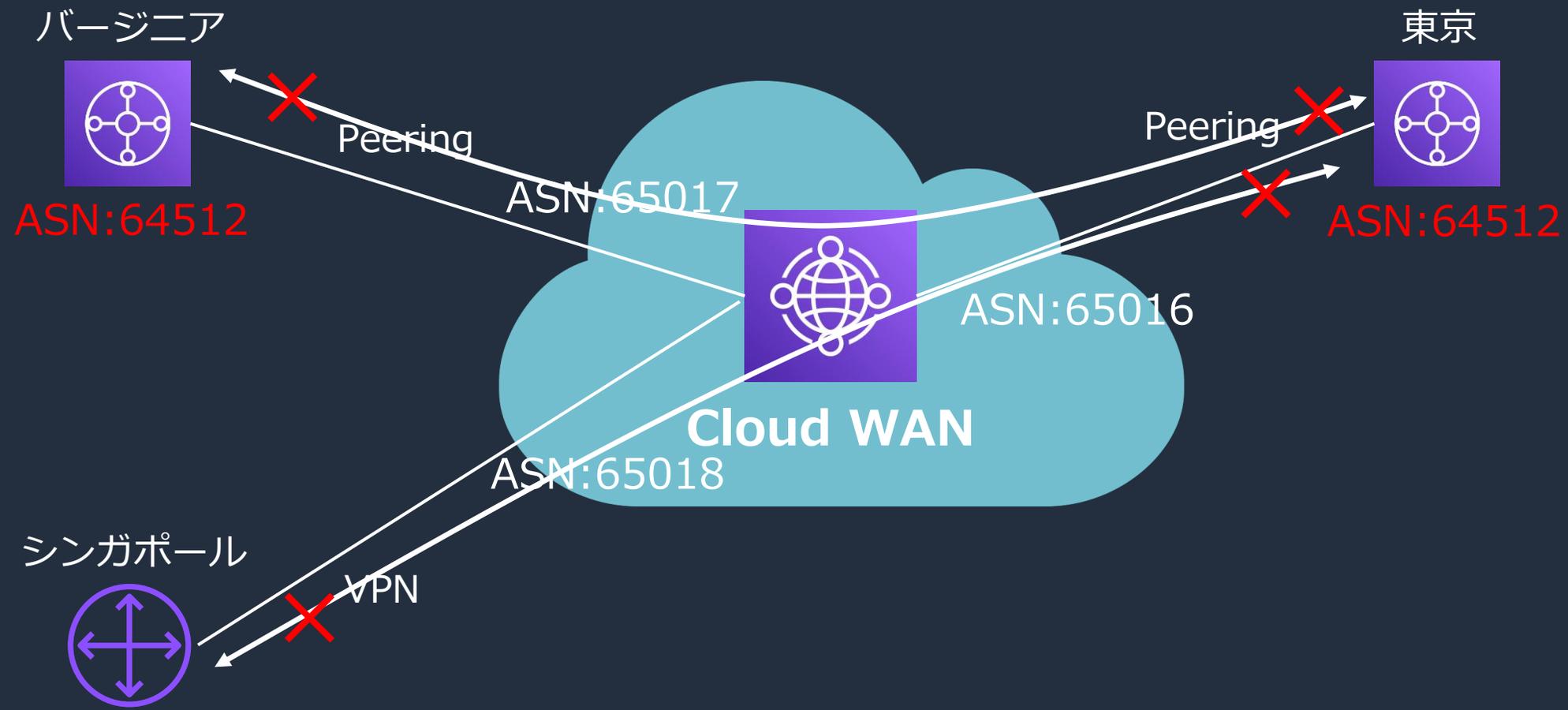
Advanced Routing Policy Rules Match/Action Types		
No	Match Condition Types	Description
1	prefix-equals	Match IPv4 or IPv6 prefixes
2	prefix-in-cidr	Match prefix that is part of a CIDR space
3	prefix-in-prefix-list	Match prefixes defined in a prefix list
4	asn-in-as-path	Match ASN in as path
5	community-in-list	Match community in the list of BGP communities
6	med-equals	Match MED value
No	Action Types	Description
1	drop	Drop matched prefixes in the route updates
2	allow	Only allow matched prefixes in the route updates
3	summarize	Summarize routes in route updates
4	prepend-asn-list	Add or remove ASNs to the AS-PATH of the route update
	remove-asn-list	Replace AS-PATH with a new ASN list
	replace-asn-list	
5	add-community	Add or remove community in the route update
	remove-community	
6	set-med	Set MED value in the route update
7	set-local-preference	Set local preference in the route update

# Advanced Routing ( Remove ASNサポート前)



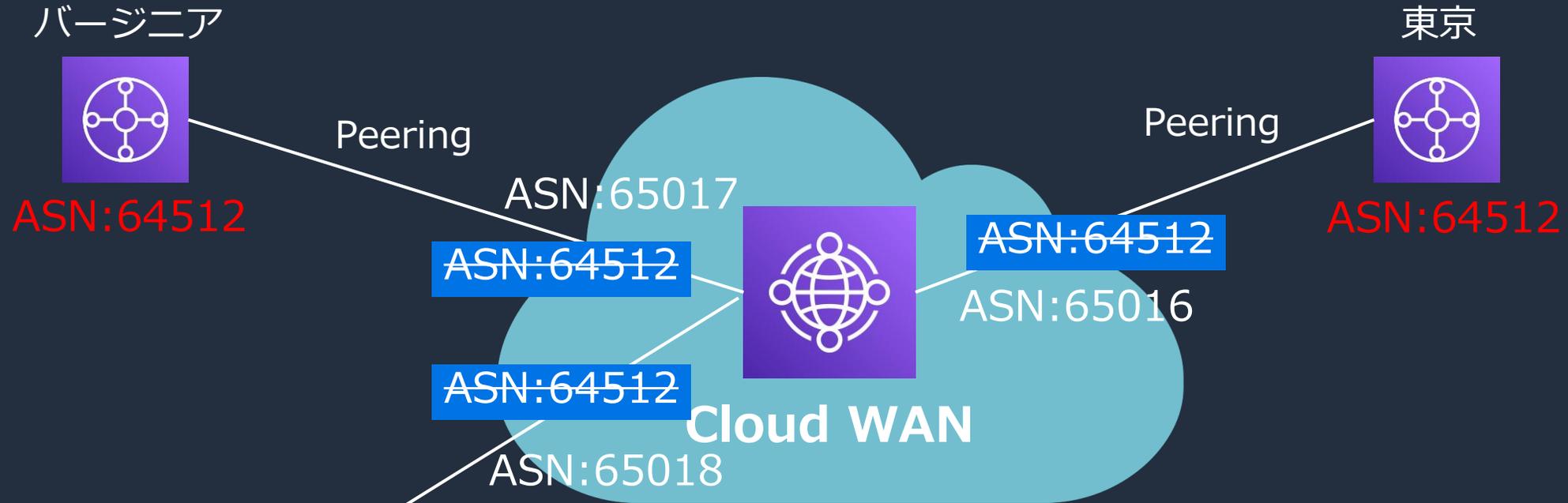
Cloud WANに接続するBGPはすべてASNが固有にする必要があった。

# Advanced Routing ( Remove ASNサポート前)



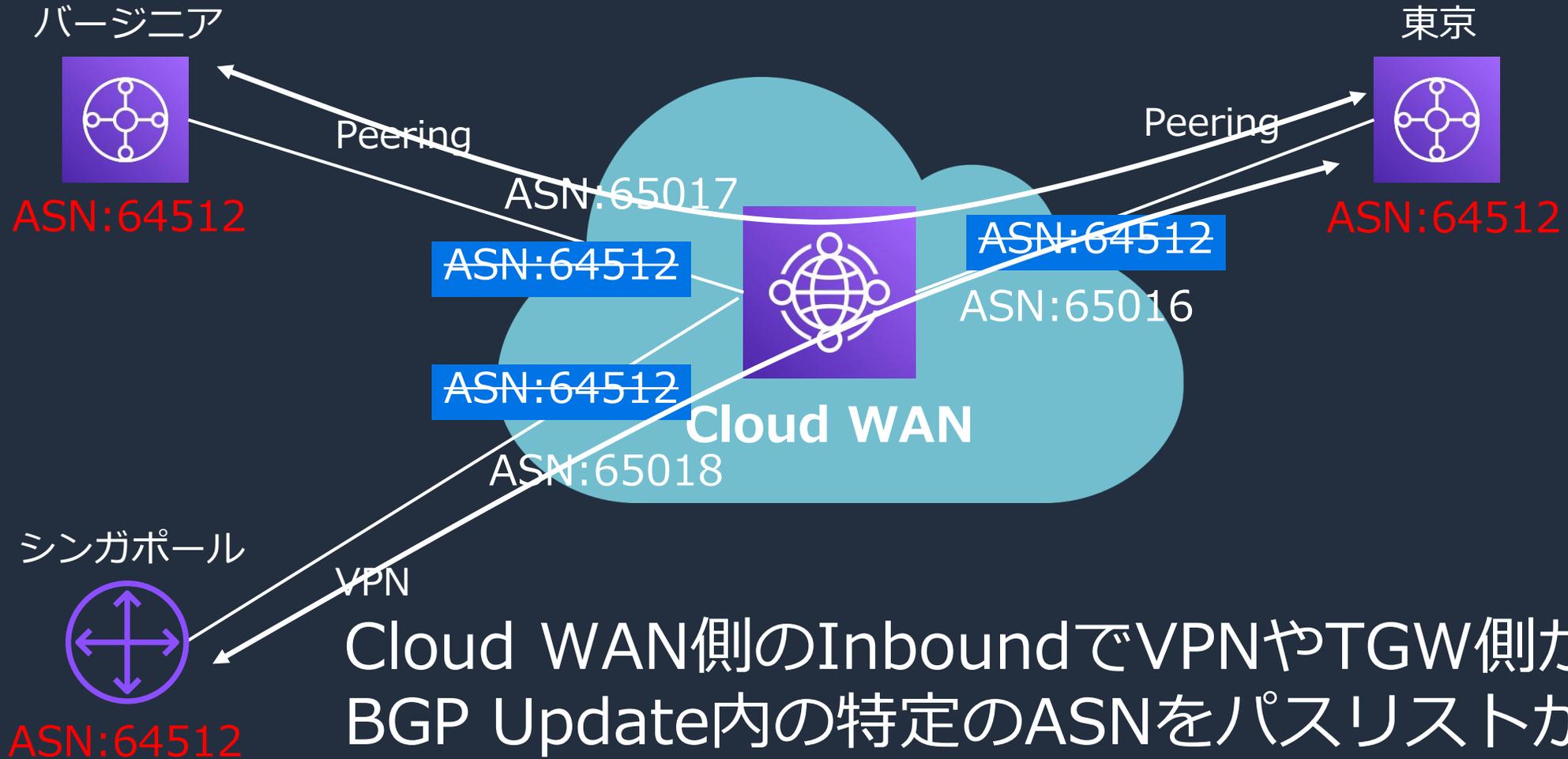
ASNが重複しているとBGPがループを検知。結果 Routingができない。

# Advanced Routing (Remove ASN)



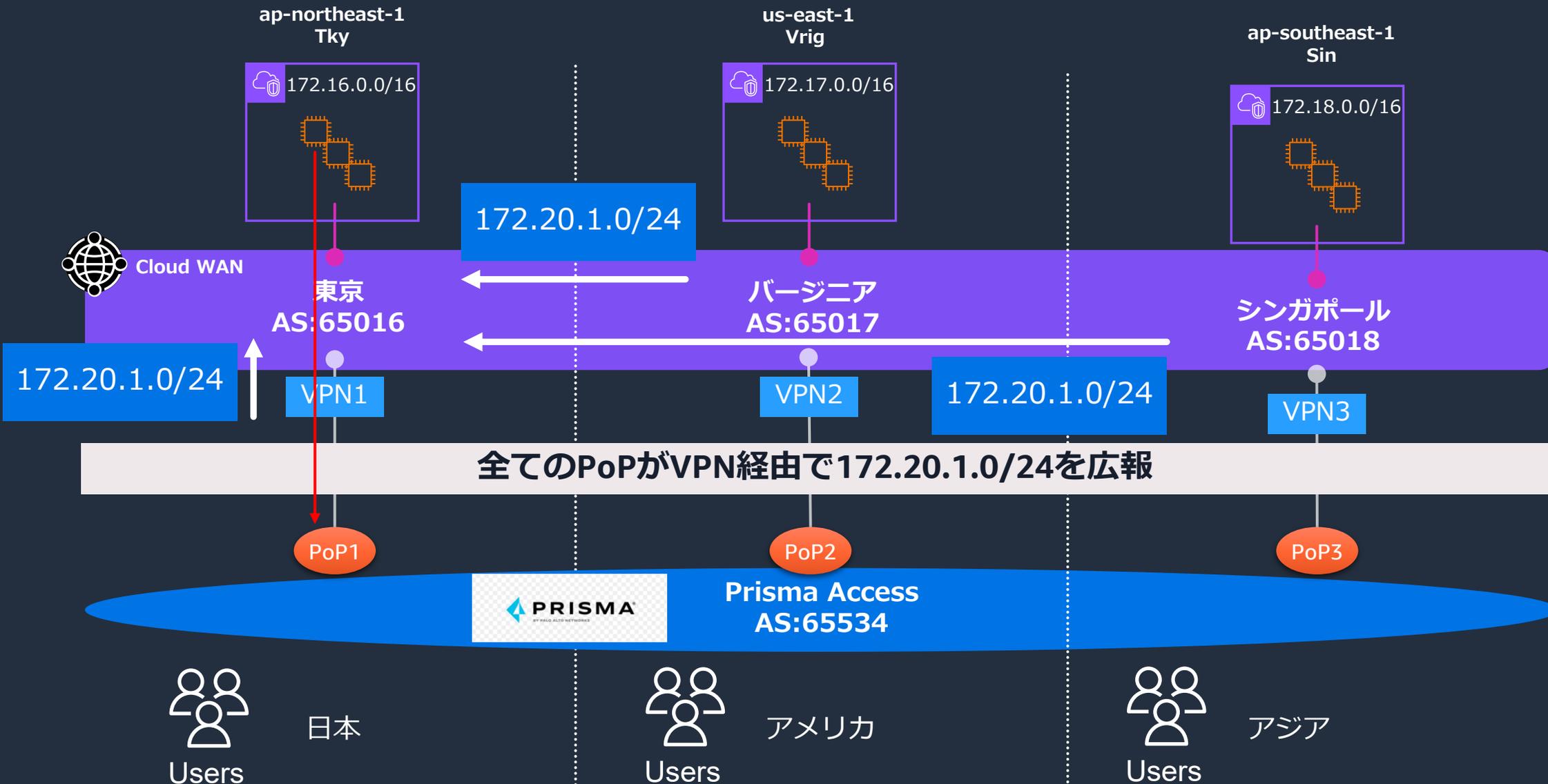
Cloud WAN側のInboundでVPNやTGW側からのBGP Update内の特定のASNをパスリストから取り除くことが可能。結果ASNの重複が許容される。

# Advanced Routing (Remove ASN)

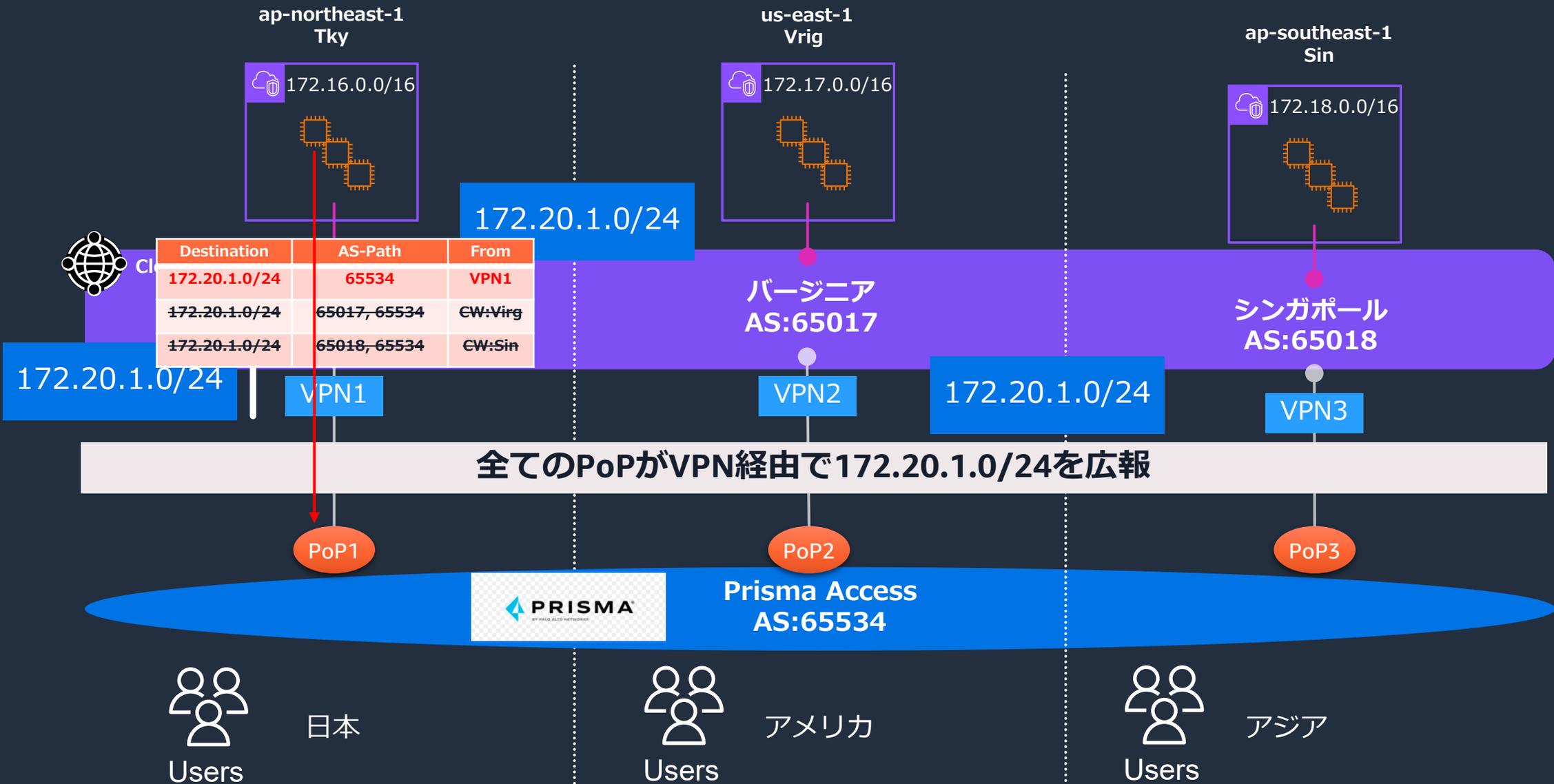


Cloud WAN側のInboundでVPNやTGW側からのBGP Update内の特定のASNをパスリストから取り除くことが可能。結果ASNの重複が許容される。

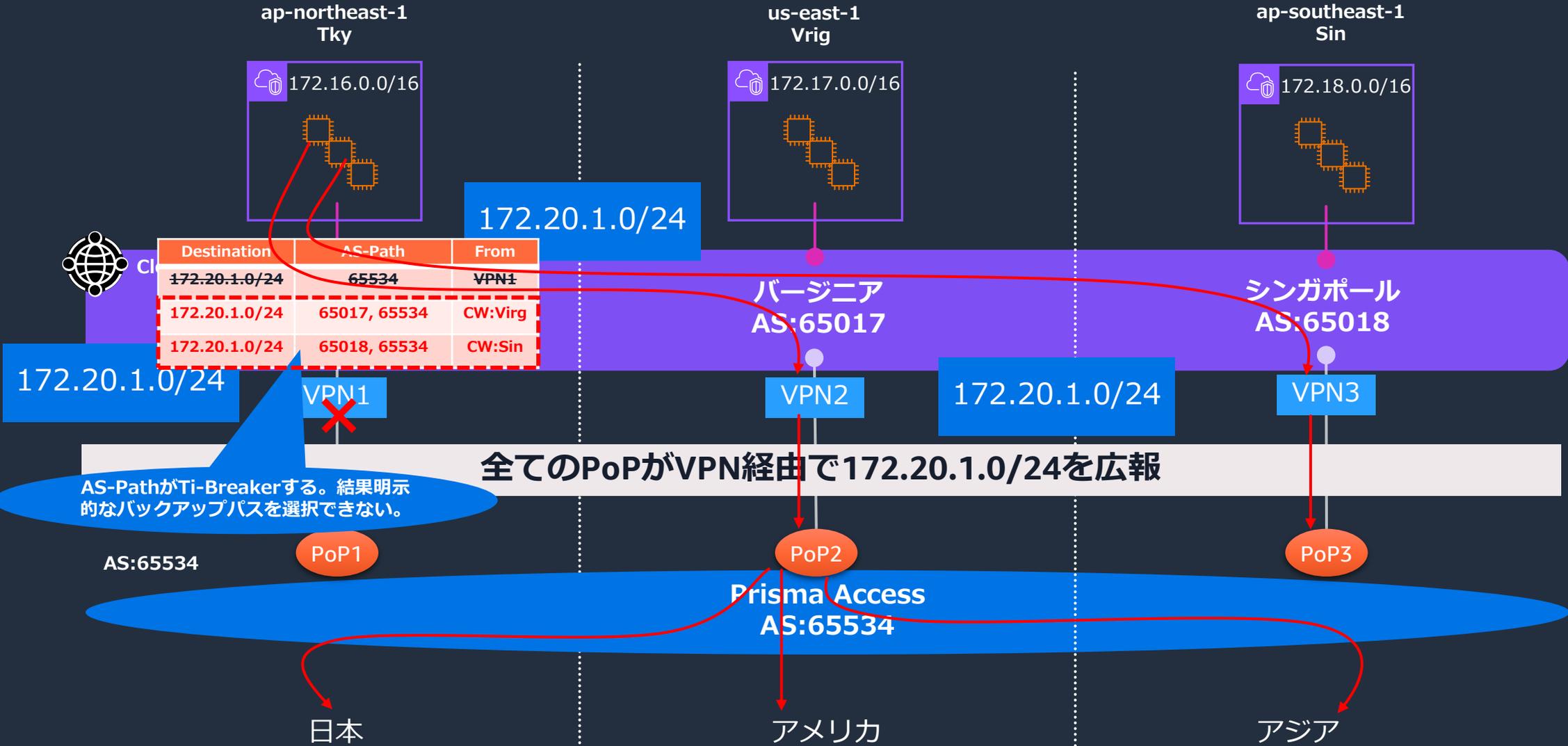
# Advanced Routing (Local Preference無し)



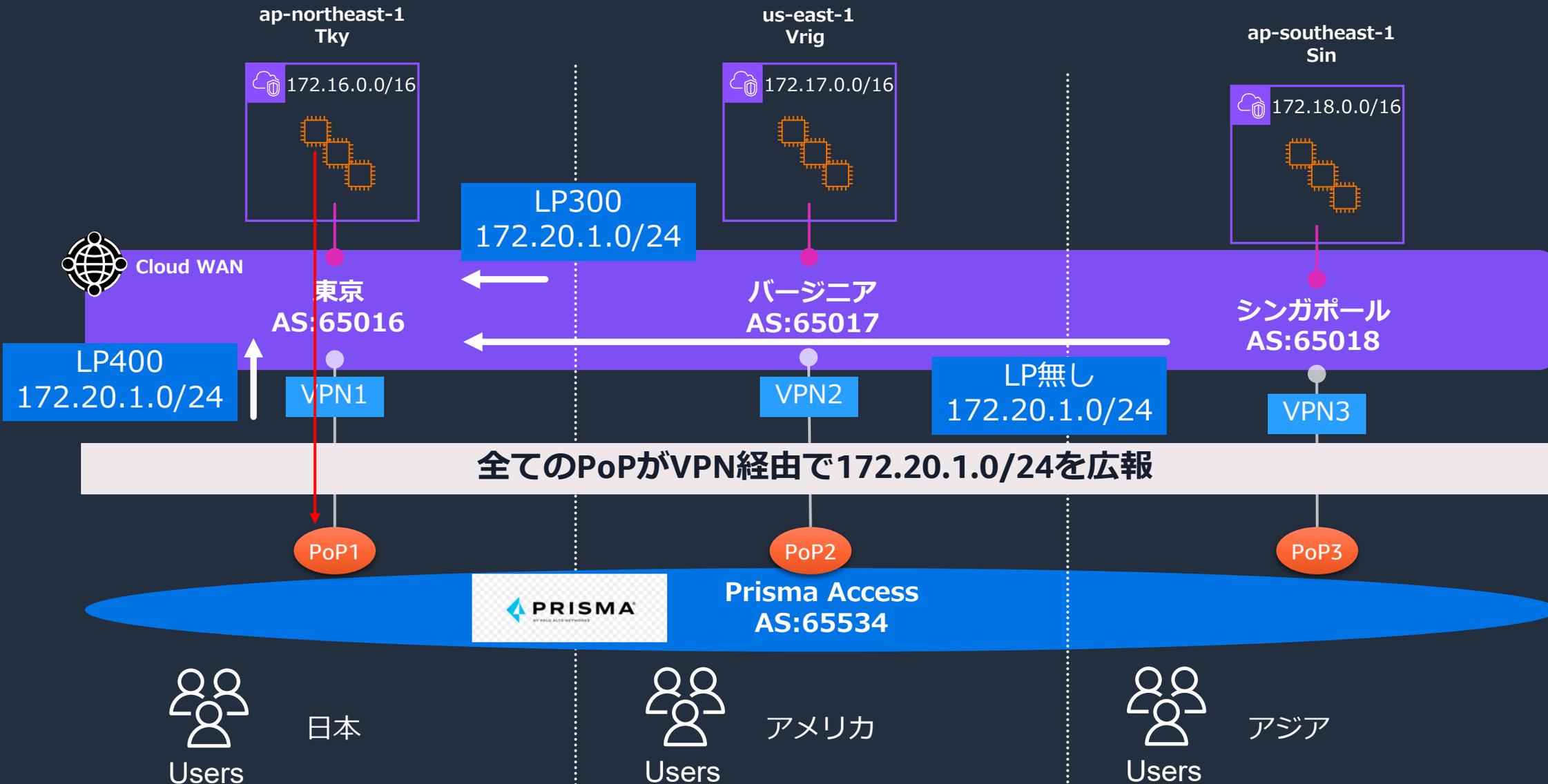
# Advanced Routing (Local Preference無し)



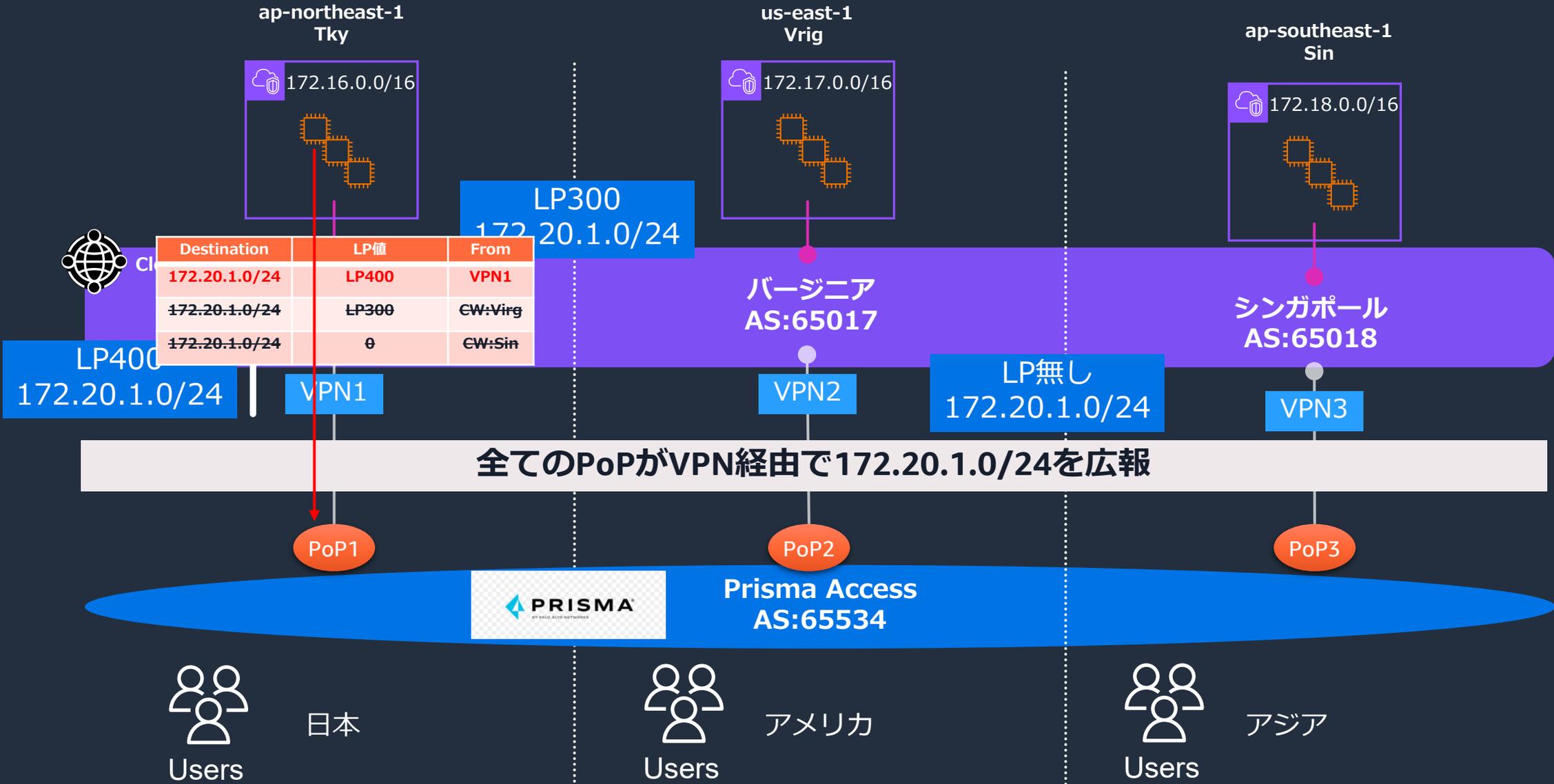
# Advanced Routing (Local Preference無し) VPN1障害



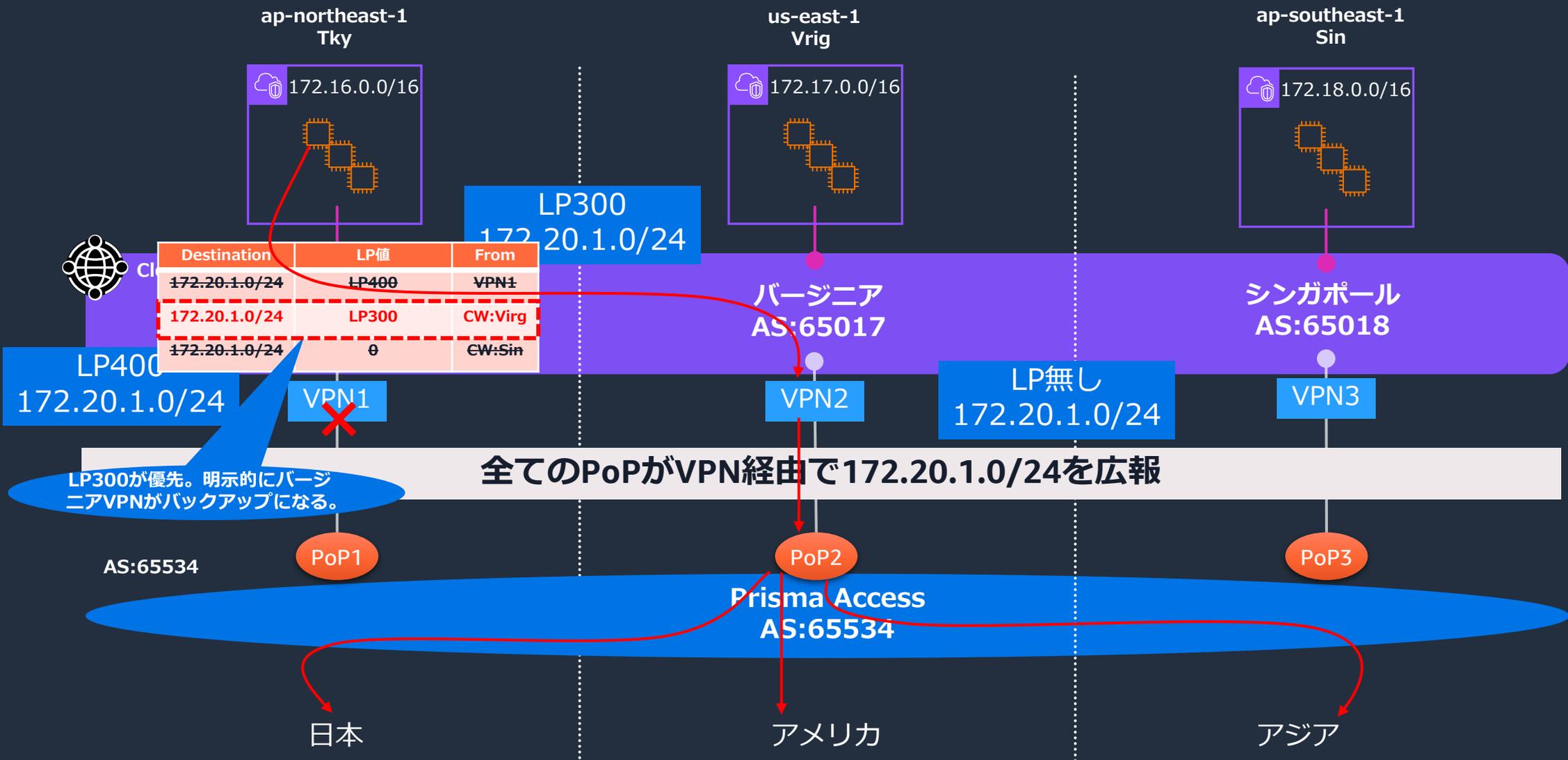
# Advanced Routing (Local Preference)



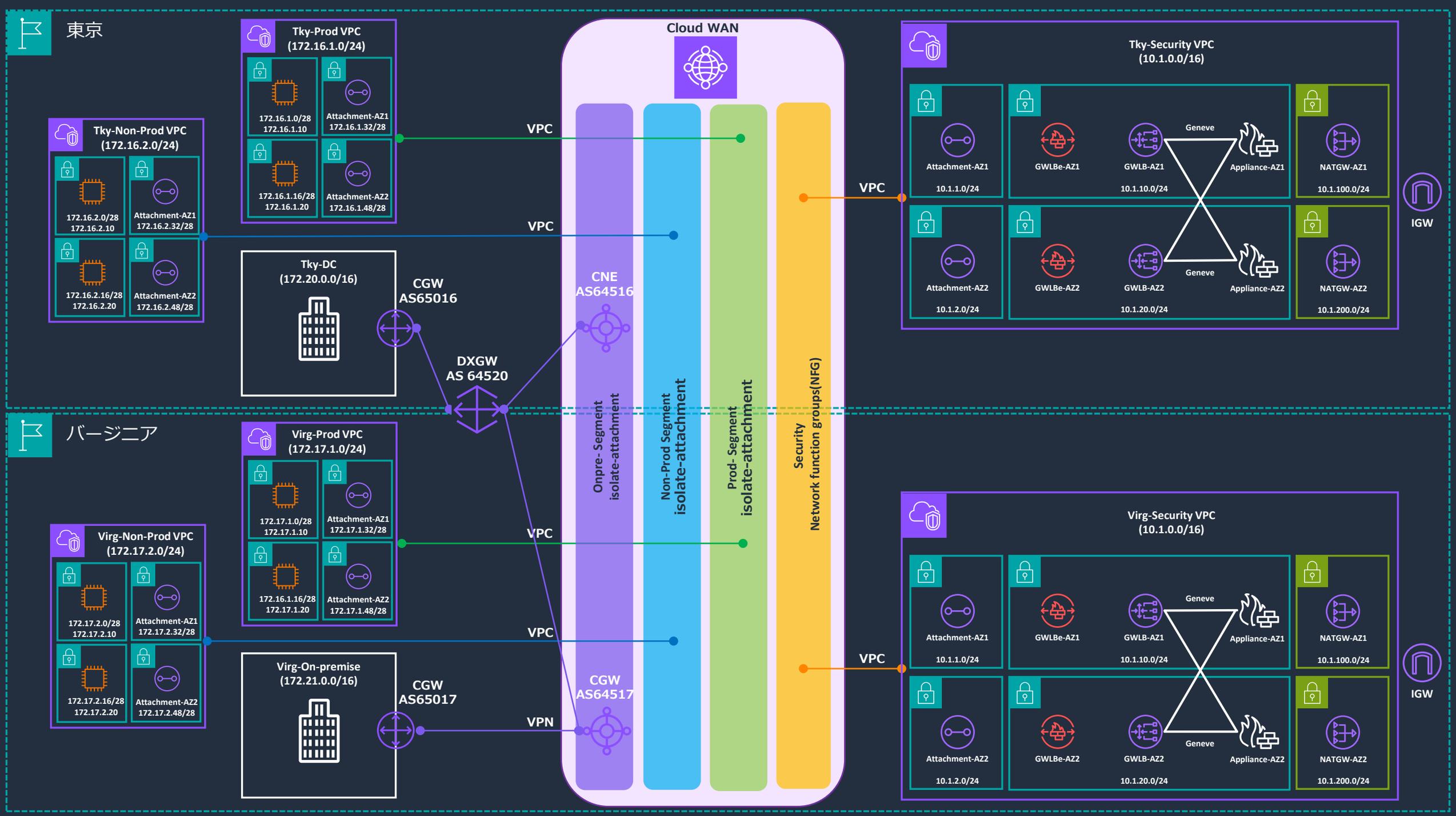
# Advanced Routing (Local Preference)

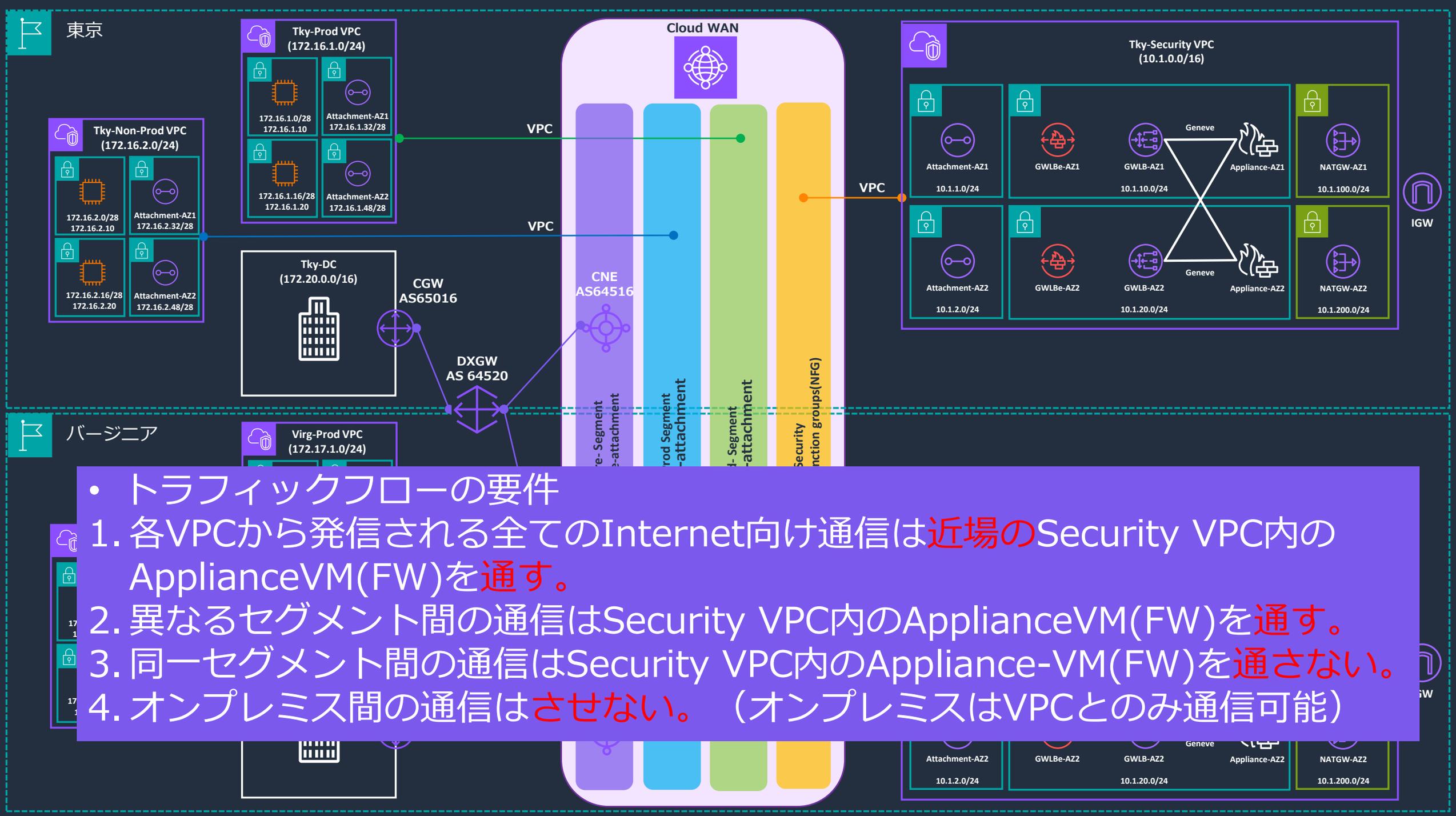


# Advanced Routing (Local Preference) VPN1障害



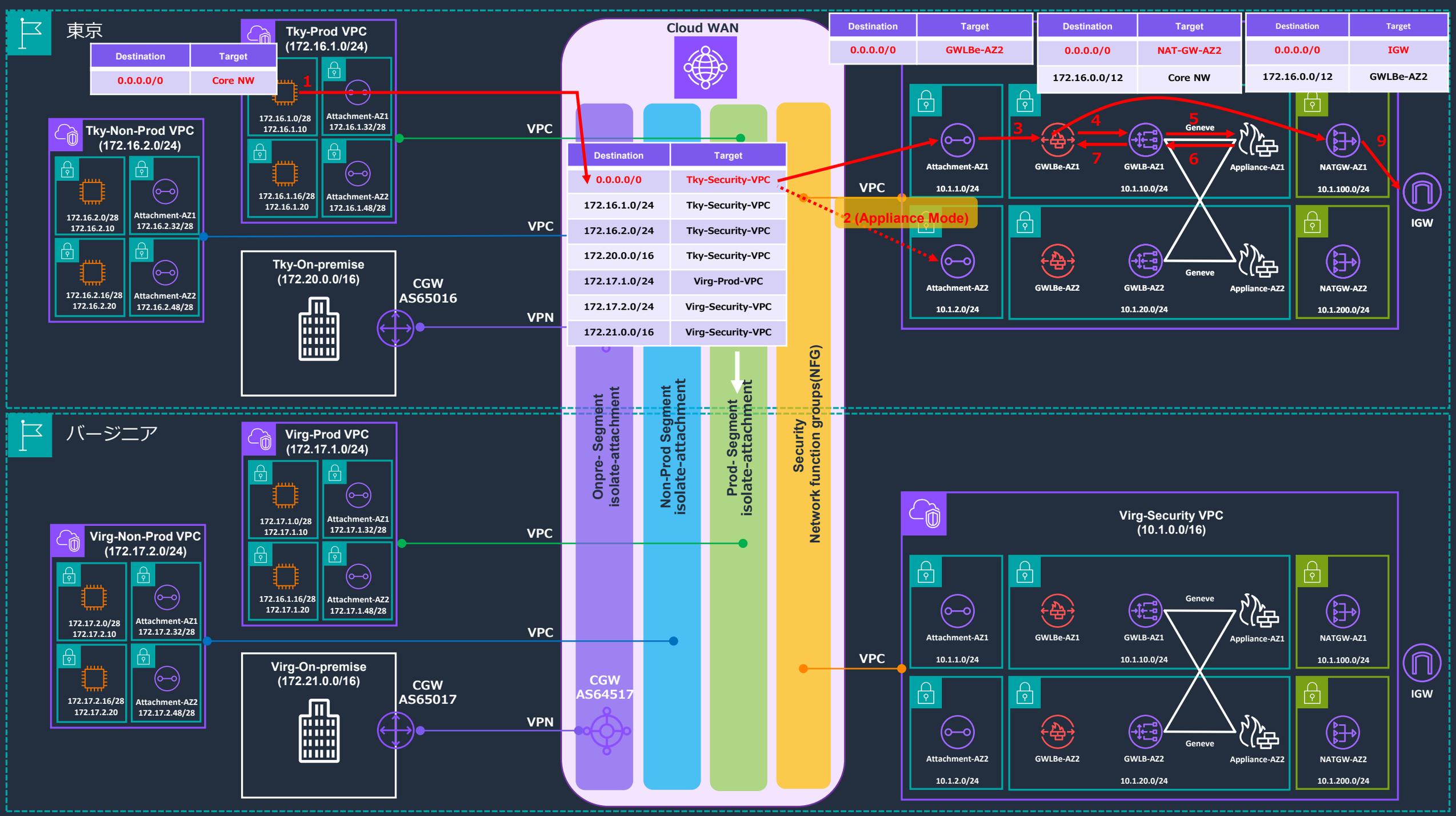
# Service Insertion

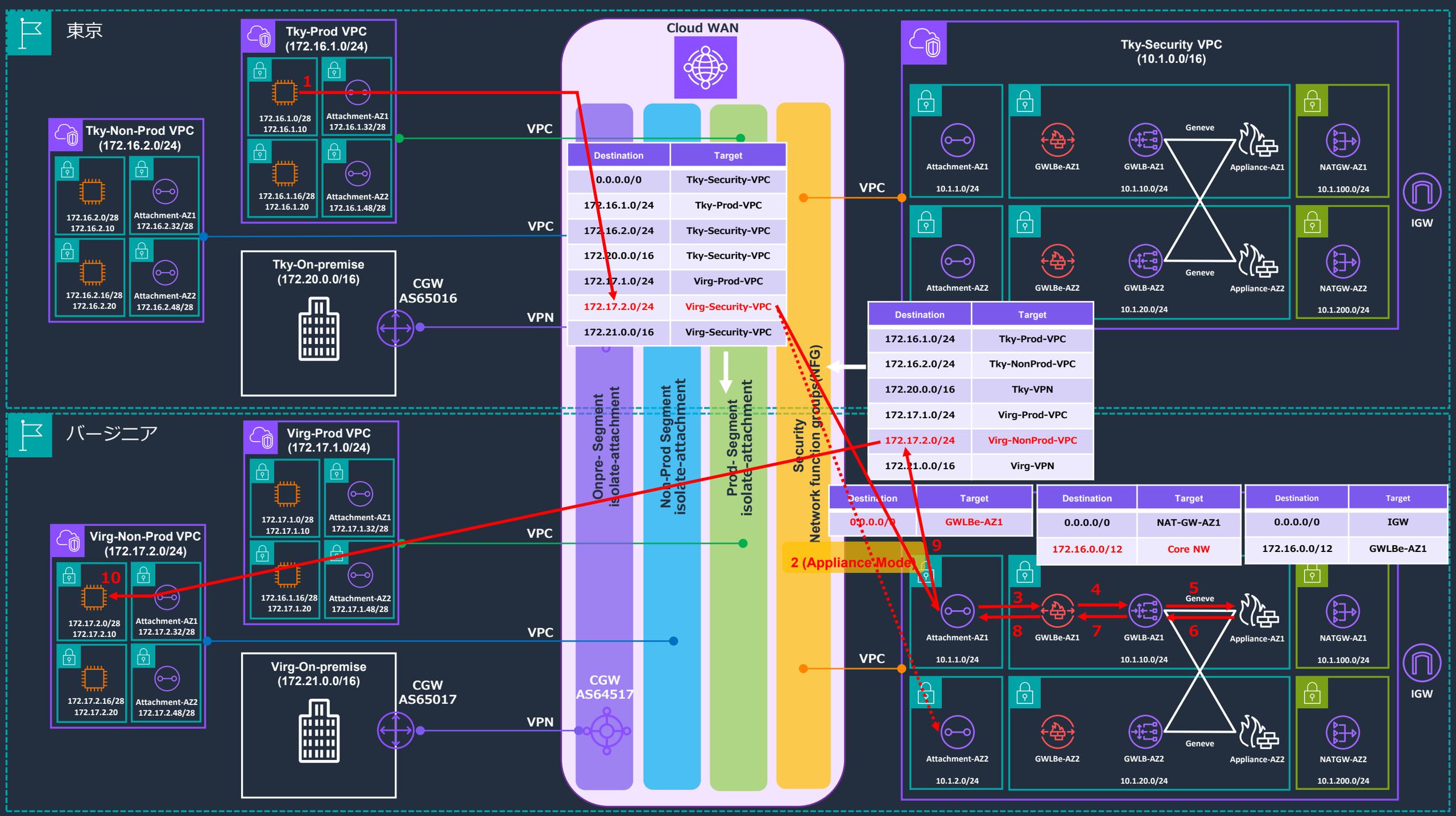




## • トラフィックフローの要件

1. 各VPCから発信される全てのInternet向け通信は**近場のSecurity VPC内のApplianceVM(FW)を通す。**
2. 異なるセグメント間の通信はSecurity VPC内のApplianceVM(FW)を通す。
3. 同一セグメント間の通信はSecurity VPC内のAppliance-VM(FW)を通さない。
4. オンプレミス間の通信は**させない。** (オンプレミスはVPCとのみ通信可能)

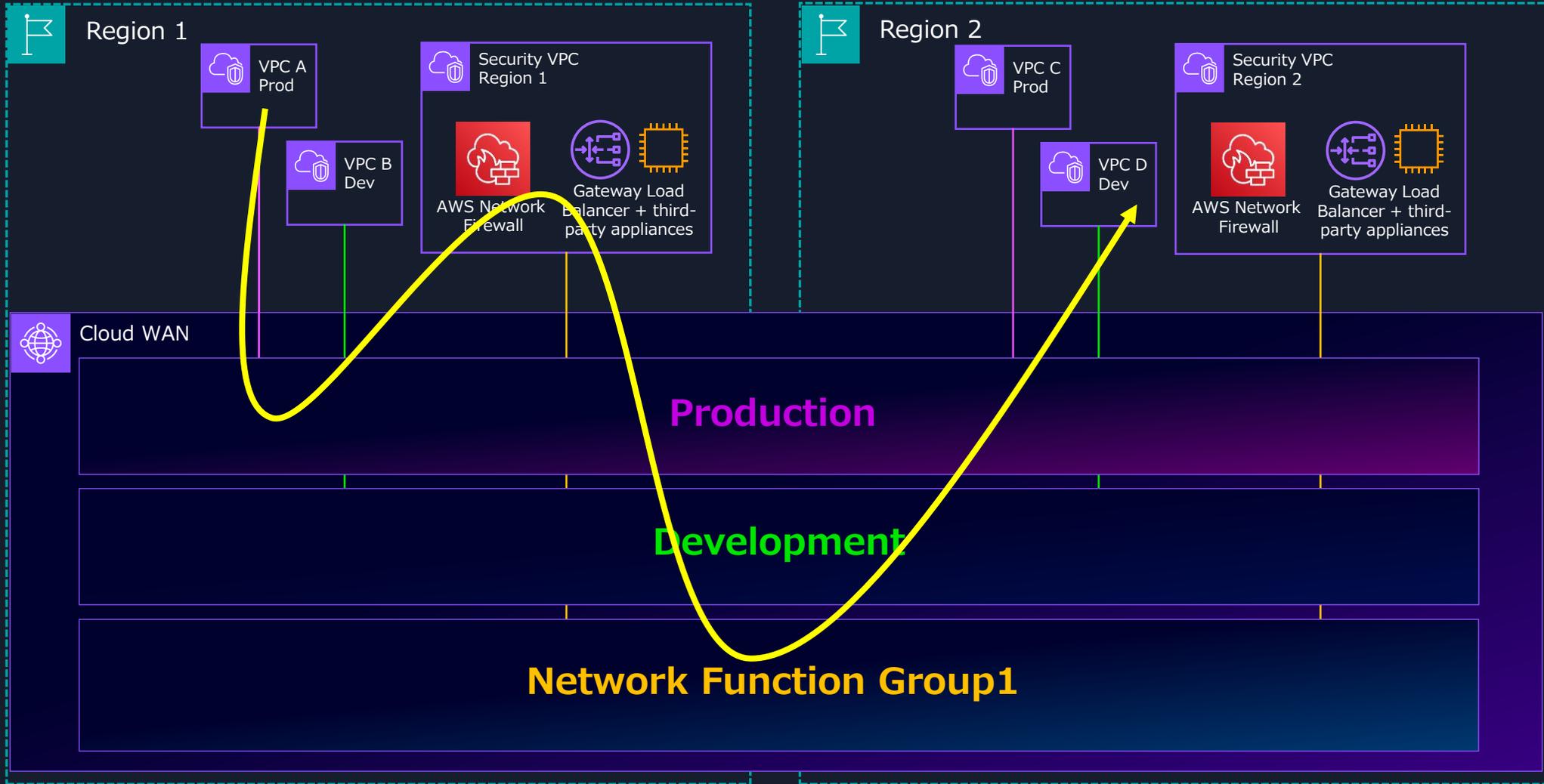




# これどうやって実現してるの？

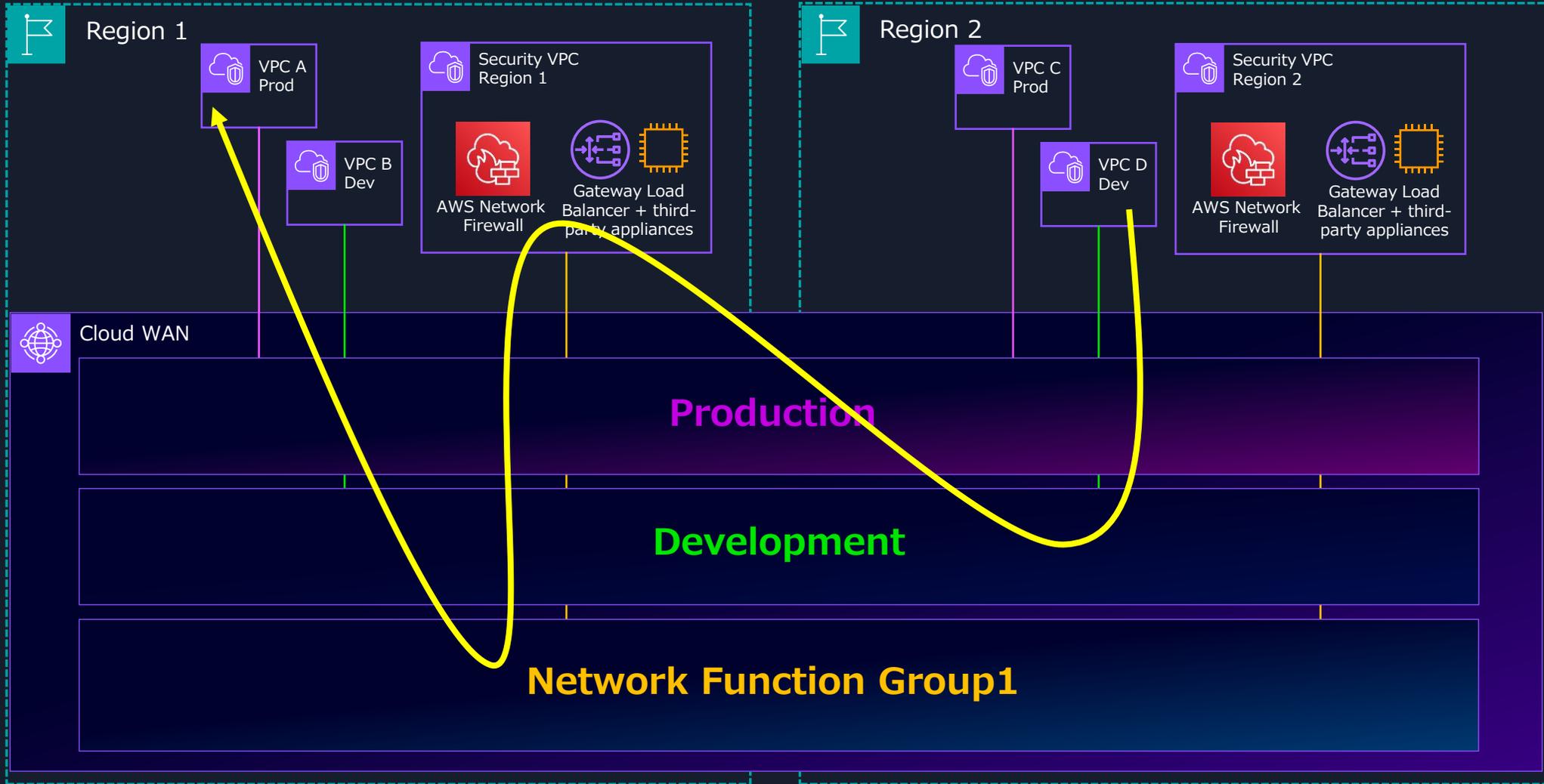
- もしかして、グローバルネットワーク全体でCloud WAN内でチクチクStatic Routeを細かく書いてるの??
  - VPCやオンプレミス拠点増えたときどうするの?? (経路が増えたとき)
- こんなの手動で行っていたら絶対、設計も設定も破綻します・・・

# Service Insertion機能概要



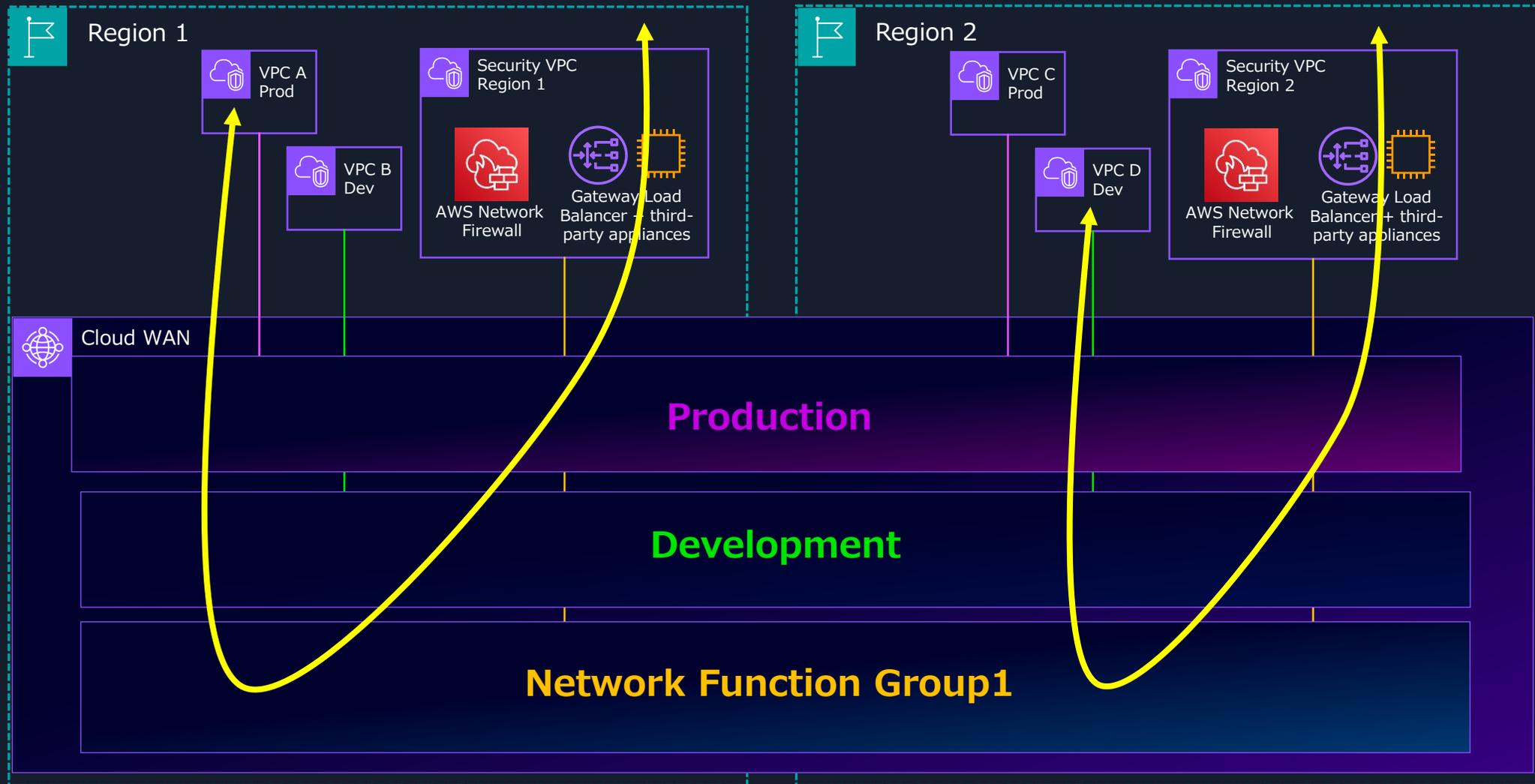
リージョン間のトラフィックインスペクションを制御する機能。

# Service Insertion機能概要



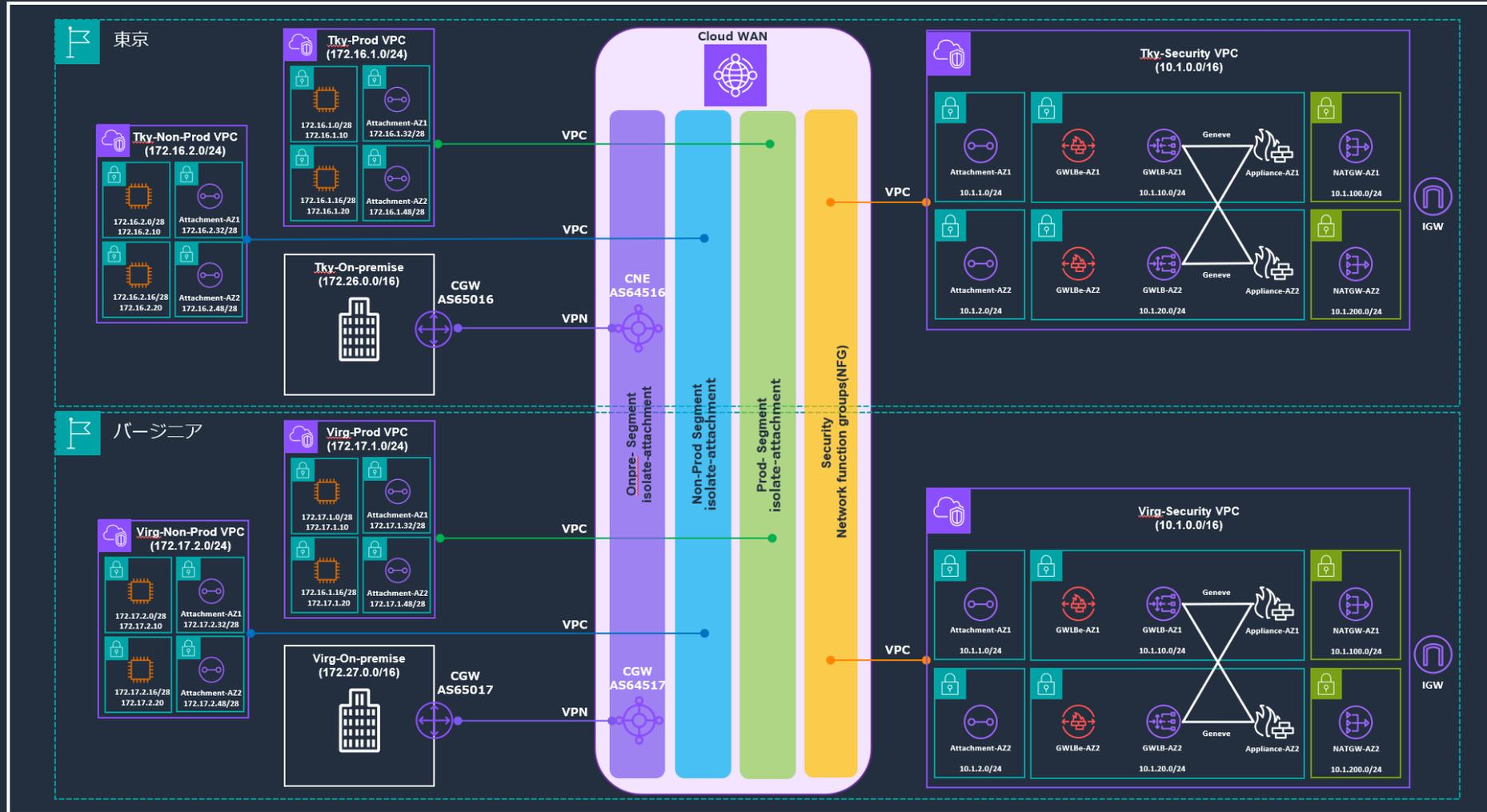
リージョン間のトラフィックインスペクションを制御する機能。

# Service Insertion機能概要



「send to」はセグメント内のデフォルトルートを自動生成するモード。

# IaC(Infrastructure as Code)



Cloud WANの構成はCloudFormationやCloud WAN内の設定を定義するCNP(Core Network Policy)でIaC化可能。



# まとめ

- AWSバックボーンネットワークを活用することで、AWSグローバルインフラストラクチャをオンプレミスネットワークの延長として利用できます。お客様のWAN環境においても、クラウドならではの高い俊敏性を得ることが可能です。
- AWS Cloud WANは、グローバルに展開されたオンプレミス拠点間や、AWS環境へのネットワーク接続を迅速に提供します。豊富なアタッチメントタイプをサポートしており、拠点間およびVPC間のグローバルルーティングが可能です。また、ネットワーク全体を一元的なダッシュボードからポリシーベースで定義・監視できるため、運用の負担を大幅に軽減します。またIaC化することで手動操作のエラー回避や迅速なデプロイ、管理の効率化を実現できます。
- AWS Cloud WANは、SASEやSD-WAN等のパートナーソリューションと統合可能なクラウドネイティブな基盤を提供します。これにより、一貫したガバナンスを保ちつつ、セキュアなグローバルネットワークの迅速な展開を実現します。



# Thank you!

Please join us again for another PartnerCast session

<https://aws.amazon.com/partners/training/partnercast/>